本資料のうち,枠囲みの内容は 商業機密の観点や防護上の観 点から公開できません。

女川原子力発電所第2号	号機 工事計画審査資料
資料番号	02-工-B-13-0005_改 0
提出年月日	2021年5月13日

工事計画に係る説明資料

浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備

(添付書類)

2021年5月

東北電力株式会社

女川原子力発電所第2号機

工事計画認可申請書本文及び添付書類

目 録

VI 添付書類

- VI-6 図面
 - 9 その他発電用原子炉の附属施設
 - 9.4 浸水防護施設
 - 9.4.2 内郭浸水防護設備
 - 第 9-4-2-1-1 図 SGTS ヒータユニット(A) 室浸水防止水密扉構造図
 - 第 9-4-2-1-2 図 RHR Hx(A) 室-RHR Hx(B) 室浸水防止水密扉構造図
 - 第9-4-2-1-3 図 原子炉建屋浸水防止水密扉(No.3)構造図
 - 第 9-4-2-1-4 図 LPCS ポンプ室浸水防止水密扉構造図
 - 第 9-4-2-1-5 図 HPCS ポンプ室浸水防止水密扉構造図
 - 第 9-4-2-1-6 図 RHR ポンプ(B) 室浸水防止水密扉構造図
 - 第 9-4-2-1-7 図 RHR ポンプ(A) 室浸水防止水密扉構造図
 - 第 9-4-2-1-8 図 RHR ポンプ(C) 室-共通通路浸水防止水密扉構造図
 - 第 9-4-2-1-9 図 FPMUW ポンプ室浸水防止水密扉構造図
 - 第9-4-2-1-10図 RCIC タービンポンプ室-共通通路浸水防止水密扉構造図
 - 第9-4-2-1-11 図 HECW 冷凍機(B)(D)室-HECW 冷凍機(A)(C)室浸水防止水密扉構造図
 - 第9-4-2-1-12図 制御建屋共通エリア浸水防止水密扉構造図
 - 第 9-4-2-1-13 図 D/G(B)室-D/G(HPCS)室浸水防止水密扉構造図
 - 第9-4-2-1-14図 区分ⅢHPCS 電気品室-区分Ⅱ非常用電気品室浸水防止水密扉構造図
 - 第 9-4-2-1-15 図 RCW Hx(A)(C)室-共通通路浸水防止水密扉構造図
 - 第9-4-2-1-16 図 HPCW Hx 室浸水防止水密扉構造図
 - 第 9-4-2-1-17 図 HPCW Hx 室-RCW Hx (B) (D) 室浸水防止水密扉構造図
 - 第9-4-2-1-18図 補助ボイラー建屋連絡階段管理区域外伝播防止水密扉構造図
 - 第 9-4-2-1-19 図 計測制御電源(B) 室浸水防止水密扉(No. 1) 構造図
 - 第 9-4-2-1-20 図 計測制御電源(B) 室浸水防止水密扉(No. 2) 構造図
 - 第 9-4-2-1-21 図 RSS 盤室浸水防止水密扉構造図
 - 第 9-4-2-1-22 図 計測制御電源(A)室-常用および共通 M/C・P/C 室浸水防止水密扉 構造図
 - 第9-4-2-1-23 図 制御建屋空調機械(A)室-制御建屋空調機械(B)室浸水防止水密扉

- 第9-4-2-1-24 図 250V 直流主母線盤室-制御建屋空調機械(B)室浸水防止水密扉 構造図
- 第 9-4-2-1-25 図 ISI 室浸水防止水密扉構造図
- 第 9-4-2-1-26 図 制御建屋空調機械(A)室-制御建屋空調機械(B)室浸水防止水密扉 (No. 2)構造図
- 第9-4-2-1-27図 燃料移送ポンプ(H)室-燃料移送ポンプ(A)室浸水防止水密扉構造図
- 第9-4-2-1-28図 燃料移送ポンプ(A)室-燃料移送ポンプ(B)室浸水防止水密扉構造図
- 第 9-4-2-1-29 図 RSW ポンプ(A)(C)室-TSW ポンプ室浸水防止水密扉構造図
- 第 9-4-2-1-30 図 HPSW ポンプ室浸水防止水密扉構造図
- 第 9-4-2-1-31 図 TSW ポンプ室-RSW ポンプ(B)(D)室浸水防止水密扉構造図
- 第 9-4-2-1-32 図 RW 電気品室(B) 浸水防止水密扉構造図
- 第 9-4-2-1-33 図 北西階段室管理区域外伝播防止水密扉構造図
- 第9-4-2-1-34 図 原子炉建屋管理区域外伝播防止水密扉(No. 3) 構造図
- 第 9-4-2-1-35 図 RW 制御室管理区域外伝播防止水密扉構造図
- 第9-4-2-1-36 図 原子炉建屋管理区域外伝播防止水密扉(No.1)構造図
- 第9-4-2-1-37 図 原子炉建屋管理区域外伝播防止水密扉(No. 2) 構造図
- 第 9-4-2-1-38 図 制御建屋管理区域外伝播防止水密扉 (No. 1) 構造図
- 第9-4-2-1-39図 タービン建屋管理区域外伝播防止水密扉構造図
- 第 9-4-2-1-40 図 主排気ダクト連絡トレンチ(2T-5)管理区域外伝播防止水密扉 構造図
- 第 9-4-2-1-41 図 原子炉建屋浸水防止水密扉(No. 4) 構造図
- 第 9-4-2-1-42 図 燃料移送ポンプ(A) 室浸水防止水密扉構造図
- 第 9-4-2-1-43 図 燃料移送ポンプ(B) 室浸水防止水密扉構造図
- 第 9-4-2-1-44 図 R-01 階段浸水防止堰(地上3 階)構造図
- 第 9-4-2-1-45 図 R-02 階段浸水防止堰(地上3 階)構造図
- 第 9-4-2-1-46 図 R-01 階段浸水防止堰(地上2 階)構造図
- 第 9-4-2-1-47 図 FCS 再結合装置(A) 室浸水防止堰構造図
- 第 9-4-2-1-48 図 FCS 再結合装置(B) 室浸水防止堰構造図
- 第 9-4-2-1-49 図 R-02 階段浸水防止堰(地上2 階)構造図
- 第9-4-2-1-50図 SGTS ヒータユニット(B)室浸水防止堰構造図
- 第 9-4-2-1-51 図 CAMS ラック(B) 室浸水防止堰構造図
- 第9-4-2-1-52図 SGTS ヒータユニット(A)室浸水防止堰構造図
- 第 9-4-2-1-53 図 CAMS ラック(A) 室浸水防止堰構造図
- 第 9-4-2-1-54 図 SGTS フィルタユニット室浸水防止堰構造図
- 第 9-4-2-1-55 図 R-01 階段浸水防止堰(地上1 階)構造図

第 9-4-2-1-56 図 R-02 階段浸水防止堰(地上1 階)構造図 第 9-4-2-1-57 図 バルブ(B) 室浸水防止堰構造図 第9-4-2-1-58図 バルブ(A) 室浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-59 図 FPC ポンプ室浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-60 図 R-01 階段浸水防止堰(地下1 階)構造図 第 9-4-2-1-61 図 R-02 階段浸水防止堰(地下1 階)構造図 第9-4-2-1-62図 MSトンネル室浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-63 図 RCIC MCC 室浸水防止堰構造図 第9-4-2-1-64 図 TIP 駆動装置室浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-65 図 復水補給水ポンプ室浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-66 図 CUW 配管・バルブ室浸水防止堰構造図 第9-4-2-1-67 図 原子炉補機(A) 室送風機室-原子炉補機(HPCS) 室送風機室浸水防止堰 構诰図 第 9-4-2-1-68 図 原子炉補機(HPCS) 室送風機室-原子炉補機(B) 室送風機室および 送風機エリア浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-69 図 2F 通路浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-70 図 区分 I ·Ⅲ非常用 D/G 制御盤室浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-71 図 D/G 補機(A) 室浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-72 図 区分ⅢHPCS 電気品室浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-73 図 静止型 PLR ポンプ電源装置室浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-74 図 IA・SA 室および通路浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-75 図 区分 I ケーブル処理室浸水防止堰構造図 第9-4-2-1-76図 常用系ケーブル処理室浸水防止堰(No.2)構造図 第9-4-2-1-77図 常用系ケーブル処理室浸水防止堰(No.1)構造図 第9-4-2-1-78図 タービン建屋管理区域外伝播防止堰(No. 3)構造図 第 9-4-2-1-79 図 タービン建屋管理区域外伝播防止堰 (No. 4) 構造図 第 9-4-2-1-80 図 タービン建屋管理区域外伝播防止堰 (No. 2) 構造図 第 9-4-2-1-81 図 タービン建屋管理区域外伝播防止堰 (No. 1) 構造図 第 9-4-2-1-82 図 HNCW 冷凍機・ポンプ室管理区域外伝播防止堰構造図 第 9-4-2-1-83 図 CAMS (A) 室空調機浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-84 図 CAMS (B) 室空調機浸水防止堰構造図 第9-4-2-1-85図 中央制御室再循環フィルタ装置浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-86 図 ハッチ上部スペース浸水防止堰構造図 第 9-4-2-1-87 図 原子炉建屋浸水防止水密扉(No. 2) 構造図 第 9-4-2-1-88 図 原子炉建屋浸水防止水密扉 (No. 1) 構造図

- 第 9-4-2-1-90 図 制御建屋浸水防止水密扉(No. 1) 構造図
- 第 9-4-2-1-91 図 制御建屋浸水防止水密扉(No. 2) 構造図
- 第 9-4-2-1-92 図 計測制御電源室(B)浸水防止水密扉(No. 3)構造図
- 第 9-4-2-1-93 図 制御建屋空調機械(A) 室浸水防止水密扉構造図
- 第 9-4-2-1-94 図 制御建屋空調機械 (B) 室浸水防止水密扉構造図
- 第9-4-2-1-95 図 第2 号機 MCR 浸水防止水密扉構造図
- 第 9-4-2-1-96 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 4) 構造図
- 第 9-4-2-1-97 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 5) 構造図
- 第 9-4-2-1-98 図 地下軽油タンク燃料移送ポンプ室アクセス用浸水防止蓋(No. 1) 構造図
- 第 9-4-2-1-99 図 地下軽油タンク燃料移送ポンプ室アクセス用浸水防止蓋(No. 2) 構造図
- 第 9-4-2-1-100 図 地下軽油タンク機器搬出入用浸水防止蓋構造図
- 第9-4-2-1-101図 第2号機海水ポンプ室浸水防止壁構造図
- 第9-4-2-2-1図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その1) 第 9-4-2-2-2 図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その2) 第9-4-2-2-3図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その3) 第9-4-2-2-4図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その4) 第9-4-2-2-5 図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その5) 第9-4-2-2-6図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その6) 第9-4-2-2-7図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その7) 第9-4-2-2-8図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その8) 第9-4-2-2-9図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その9) 第 9-4-2-2-10 図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その10) 機器の配置を明示した図面(その11) 第 9-4-2-2-11 図 内郭浸水防護設備 第9-4-2-2-12図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その12) 第 9-4-2-2-13 図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その13) 第9-4-2-2-14図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その14) 第 9-4-2-2-15 図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その15) 第9-4-2-2-16図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その16) 第9-4-2-2-17図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その17) 第9-4-2-2-18図 内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その18)

 林囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注 1:特記なき寸法は心耐を示す。 注 2:特記なき寸法は公称値を示す。 注 3: 1:4:2:5:4:5:5:4:5:5:4:5:5:5:4:5:5:4:5:5:4:5:5:5:4:5:5:5:4:5:5:5:4:5:5:5:4:5:5:5:4:5:5:5:4:5:5:5:4:5

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>2280</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>1235</mark>		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

	枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注 1: 特記 なき 寸 法は mm を示 す。 注 2: 特記 な き 寸 法は 公称 値 を示 す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-2 図 女川原子力発電所 第 2 号機 名 RHR Hx(A)室-RHR Hx(B)室浸水防止 科 水密扉構造図 称 水密扉構造図 東 北 電 力 株 式 会 社

	主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
扉体	たて	2090		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
体	横	950		同上
パネ	たて	2172] [同上
イル	横	1020		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>1360</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	925		同上

#田みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法はご称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注書計画認可申請 第9-4-2-1-4 図 女川原子力発電所第2号機 名 LPOS ポンプ室長水防止水密扉 科 1005 ポンプ室長水防止水密扉 新 1.1 信力株式会社 東北< 1.1 株式会社

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2060		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1060		同上

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注 1:特記なき寸法はmmを示す。 注 2:特記なき寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-5 図	女川原子力発電所 第2 号機 名	uroo ペノノエ <i>反</i> へbJエ小台 構造図	■ 東北電力株式会社 1476

工事計画記載の公称値の許容領	範囲
----------------	----

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2076		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1186		同上

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。	6	女 川 県 子 力 発 電 所 第 2 号 機 名 <u>RHR ポンプ(B)室浸水防止水密扉</u> ** 構造図	_ 東

主要寸法 (mm)	人、、 上 許容範囲		
たて	2076		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1186		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

神囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 女川原子力発電所第9-4-2-1-7 図 女川原子力発電所第29-機 格 RHR.ポンプ(A)室浸水防止水密扉 新造図 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	2060		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1060		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

	中囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注 1:特記なき 寸法はmmを示す。 注 2:特記なき 寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-8 図 女川原子力発電所 第 2 号機 名 RHRポンプ(0)室-共通通路 科 浸水防止水密庫

工事計画記載の公称値の許容範	丳
----------------	---

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2076		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1186		同上

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-9 図 女 川 原 子 力 発 電 所 第 2 号 機 名 FPMUW ポンプ室浸水防止水密扉 标	■ 東北電力株式会社 1426

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2040		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1050		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

#囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法は心称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注3:10:10:10:10:10:10:10:10:10:10:10:10:10:

工事計画記載の公称値の許容範	井
----------------	---

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2060		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1060		同上

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。	9-4-2-	女川原子力発電所 第2号機 名 HECW 冷凍機(B)(D)室 - HECW 冷凍機 私 (A)(C)窒浸水防止水密扉 構造図	_ ₩

工事計画記載の公称値の許容範	ī囲
----------------	----

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	2020		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1810		同上

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-12 図 女川原子力発電所 第 2 号機 名 制御建屋共通エリア浸水防止水密扉 科 構造図 赤 構造図 東北電力株式会社 1426

	主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
扉体	たて	<mark>2090</mark>		製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
体	横	<mark>1210</mark>		同上
パネル	たて	<mark>2707</mark>		<mark>同上</mark>
12	横	<mark>490</mark>] [<mark>同上</mark>
上 部 パネ	たて	<mark>417</mark>		<mark>同上</mark>
ハネル	横	<mark>1430</mark>		<mark>同上</mark>

工事計画記載の公称値の許容範囲

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-13 図 女川原子力発電所 第 2 号機 名 D/6(B)室 - D/6(HPCS)室浸水防止 科 水密扉 市 *	1 - 1 · · · · · · · · · · · · · · · · ·

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2090		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1100		同上

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-14 図 女川原子力発電所 第 2 号機 名 医分皿HPCS 電気品室 称 電気品室浸水防止水密扉 潮 北 東 北 東 北 東 北 重 九 村 1426

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠	
扉体	たて	3050		製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
体	横	2434		同上
小	たて	2120		同上
小扉	横	1115		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

#BA00内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法は心称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 次川原子力発電所第29-4-2-1-15 図 女川原子力発電所第29-4 各 RCW Hx(A)(C)室-共通通路 科 声北< 市北 市北

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠	
扉体	たて	3530		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
体	横	3060		同上
小	たて	2060] [同上
小扉	横	1060		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

#=========== #======== 注1:特記なき寸法はmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 方川原子力発電所第9-4-2-1-16 図 女川原子力発電所第2号機 希 市PCW Hx 室浸水防止水密扉 新 東北電力株式 東北電力株式

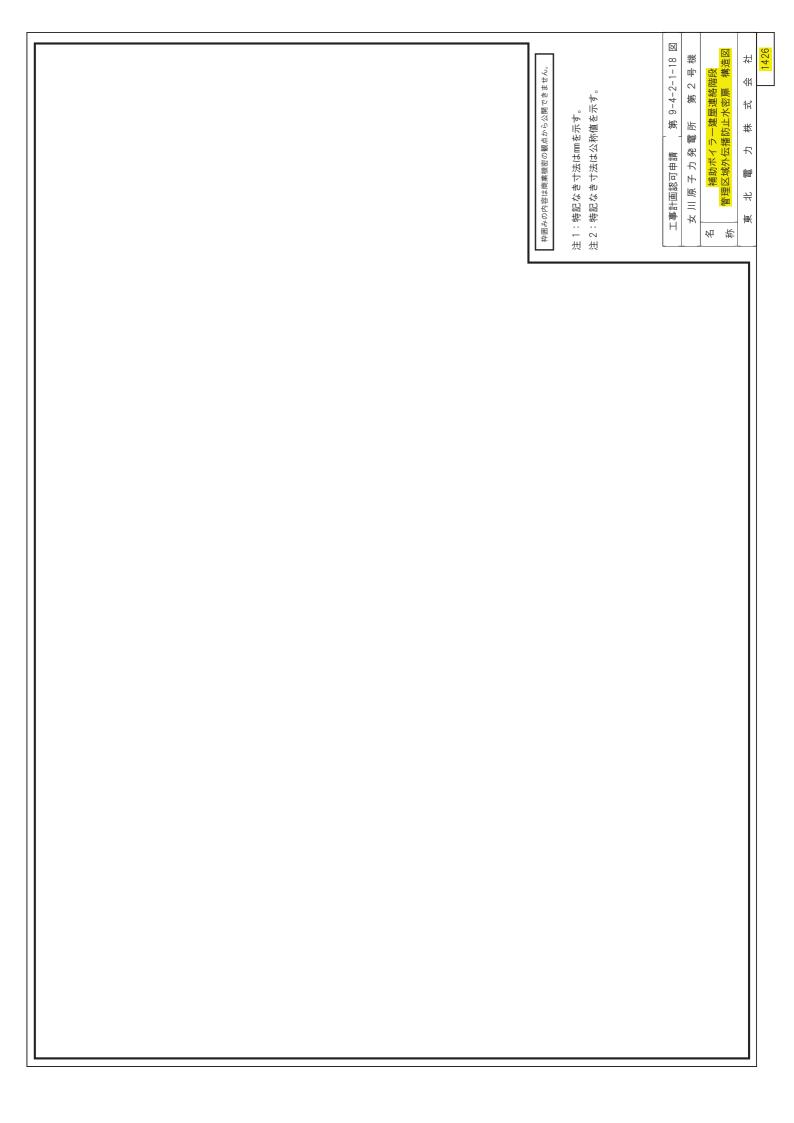
工事計画記載の公	称値の許容範囲
----------	---------

	主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
扉	たて	3530		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
扉 体	横	3060		同上
	たて	2060] [同上
小扉	横	1060		同上

神囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注 1:特記なき寸法はmを示す。 注 1:特記なき寸法は心称値を示す。 注 2:特記なき寸法は公称値を示す。 注 2:特記なき寸法は公称値を示す。 注 1.所 子力 発 電 所 第 9-4-2-1-17 図 女 川 原 子力 発 電 所 第 2 9 機 本 月PCW Hx 空-RCW Hx(B)(D)室 新 市 市 市 市 市 方 方 市 市 市 市 市 市 市 市 市

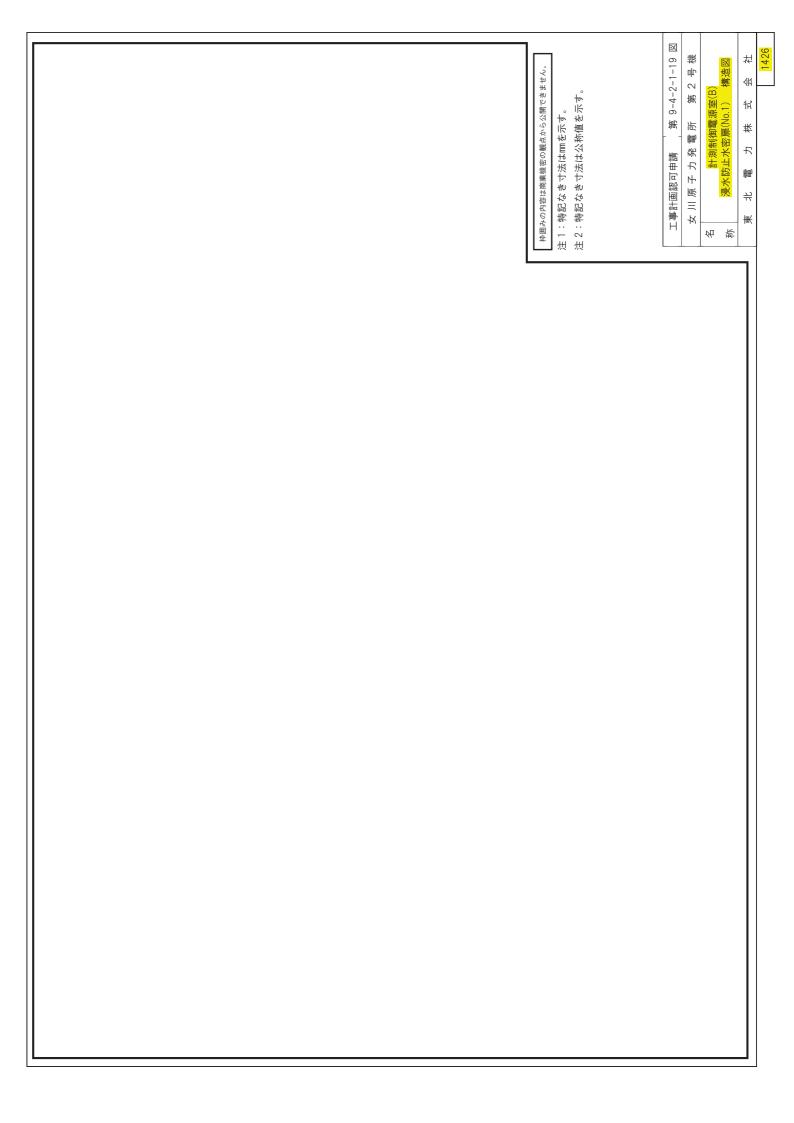
	主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
扉体	たて	3530		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
体	横	3060] [同上
小	たて	2060] [同上
小扉	横	1060		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。



主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>2080</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>1060</mark>		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。



	主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
扉体	たて	2800		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
体	横	2380		同上
小	たて	2100		同上
小扉	横	1310		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注 1:特記なき寸法はmmを示す。 注 2:特記なき寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-20 図 女川原子力発電所 第 2 号機 名 計測制御電源室(B)浸水防止水密扉 科 (No.2) 構造図 東 北 電 力 株 式 会 社

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2020		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1100		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

	枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注 1:特記なき 寸法はmmを示す。 注 2:特記なき 寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-21 図 女川原子力発電所 第 2 号機 名 RSS 盤室浸水防止水密扉 私 構造図 東<北電力株式会社

	主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
扉体	たて	2650		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
体	横	2280		同上
小	たて	2100] [同上
小扉	横	1310		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

	主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
扉体	たて	2750		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
体	横	2480] [同上
小	たて	2100] [同上
小扉	横	1310		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

	林囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法は山本示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 本 川 原子力 発電所 第 9-4-2-1-23 図 女 川 原子力 発電前機械(A)室-制御建屋 新聞機械(B)室気水防止水密扉(No.1) 新 構造図 新 13.05 東 北 電 力 株 式 会 社

第 9-4-2-1-23 図 制御建屋空調機械(A)室-制御建屋空調機械(B)室浸水防止水密扉(No.1)構造図 別紙

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	<mark>2060</mark>		製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>1060</mark>		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

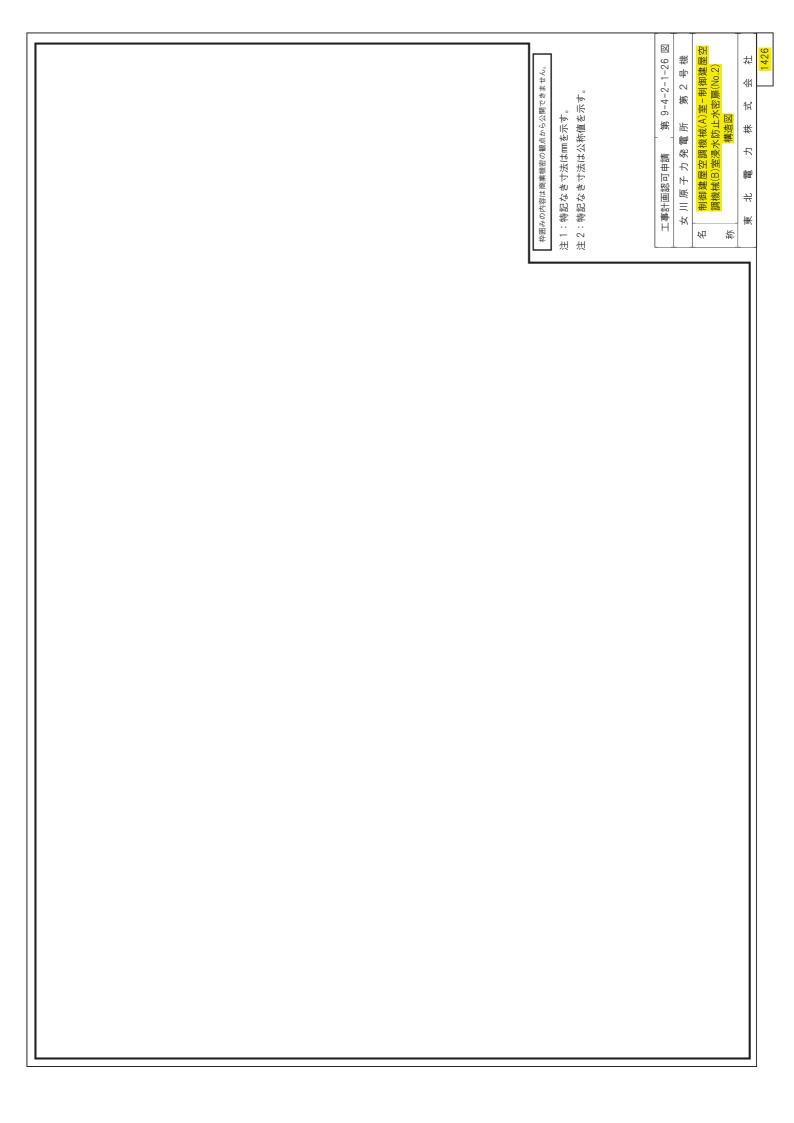
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注 1:特記なき寸法はmmを示す。 注 2:特記なき寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-24 図 女川原子力発電所 第 2-4後 名 250V直流主母線盤室-制御建屋空調 称 250V直流主母線盤室-制御建屋空調 赤 機械(B)室 東北電力株式会社

工事計画記載の公称値の許容範	井
----------------	---

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2460		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1360		同上

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注 1 : 特記なき 寸法は価重を示す。 注 2 : 特記なき 寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-25 図 女川原子力発電所 第 2 号機 名 81室浸水防止水密扉 熱 81室浸水防止水密扉 熱 第 3 名

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2365		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1400		同上



第 9-4-2-1-26 図 制御建屋空調機械(A)室-制御建屋空調機械(B)室浸水防止水密扉(No. 2)構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2360		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1360		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

神囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法はcmmを示す。 注2:特記なき寸法はcmmを示す。 上事計画認可申請 第9-4-2-1-27図 女川原子力発電所第9-4-2-1-27図 名 燃料移送ポンプ(H)室-燃料移送ポンプ 新 (A)室浸水防止水密扉 構造図 東北 古 林式会社 1 1 1 主 北 1 東北 古 林式会社

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1990		製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
横	990		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1990		製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
横	990		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

 株囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なさ寸法はmmを示す。 注2:特記なさ寸法は公称値を示す。 注2:特記なさ寸法は公称値を示す。 注2:特記なさ寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公式は

第 9-4-2-1-29 図 RSW ポンプ(A)(C)室-TSW ポンプ室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
たて	2105mm		製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
横	1110mm		同上

注:主要寸法は,工事計画記載の公称値を示す。

神囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注4:10.000 工事計画認可申請 第 9-4-2-1-30 図 女川原子力発電所 第 2 号機 各 一PSW ポンプ室 科 一PSW ポンプ室 承 1.1 高 力 株 式 会 社

第 9-4-2-1-30 図 HPSW ポンプ室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根拠
たて	2107mm		製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
横	1110mm		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

神囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法はい耐を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なきす法は公称値を示す。 注2:特記なきす法は公称値を示す。 注2:特記なきす法は公称値を示す。 注2:特記なきす法は公称値を示す。 注2:特記なきす法は公称値を示す。 上事計画認可申請 第 9-4-2-1-31 図 女川原子力発電所ポンプ2000 第 2 号機 本 第 2 2 号機 水 漫水防止水密扉構造図 東北電力株式会力株式会社 1 株式会社

第 9-4-2-1-31 図 TSW ポンプ室-RSW ポンプ(B)(D)室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
たて	2110mm		製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
横	1110mm] [同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

神囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法はmiを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注手計画認可申請 第9-4-2-1-32 図 女川原子力発電所第29人 本 RW 電気品室(B)浸水防止水密扉 新 1: 書: 1 未 式

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>1980</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1110		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の銀点から公開できません。 注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第9-4-2-1-33 図 女川原子力発電所 第2号機 名 北西階段室管理区域外伝播防止水密扉 称 精造図 東 北<電 力 株 東 北<電 力 株 1426

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>1340</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>900</mark>		同上

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-34 図	女川原子力発電所 第2号機 名 原子炉建屋管理区域外伝播防止水密	※ <mark>扉(No.3) 構造図</mark> ++ ÷ ■ + ≠ + ◇ 1	■ 果北電刀株式蛋白 1476

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1970		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1300		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-35 図	× –	\/W 啊!咿里旨埋区%?/「A猫的小 構造図	┛ 東 北 鴫 力 株 戎 ☆ 社 14.56

	主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
扉	たて	2040		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
扉体	横	1050		同上
パネ	たて	2078		同上
ホル	横	716		同上
上部パネ	たて	863		同上
ネル	横	1822		同上

注:主要寸法は,工事計画記載の公称値を示す。

 株田みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法は山を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なきす法は公称値を示す。 注2:特記なきす法は公称値を示す。 注2:特記なきす法は公称値を示す。 注2:特記なきす法は公称値を示す。 注2:特記なきす法は必称値を示す。 注2:特記なきす法はいた。

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>2310</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1345		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-37 図 女川原子力発電所 第 2 号機 名 原子炉建屋管理区域外伝播防止 科 水密扉(No.2) 構造図 東北電力株式会社

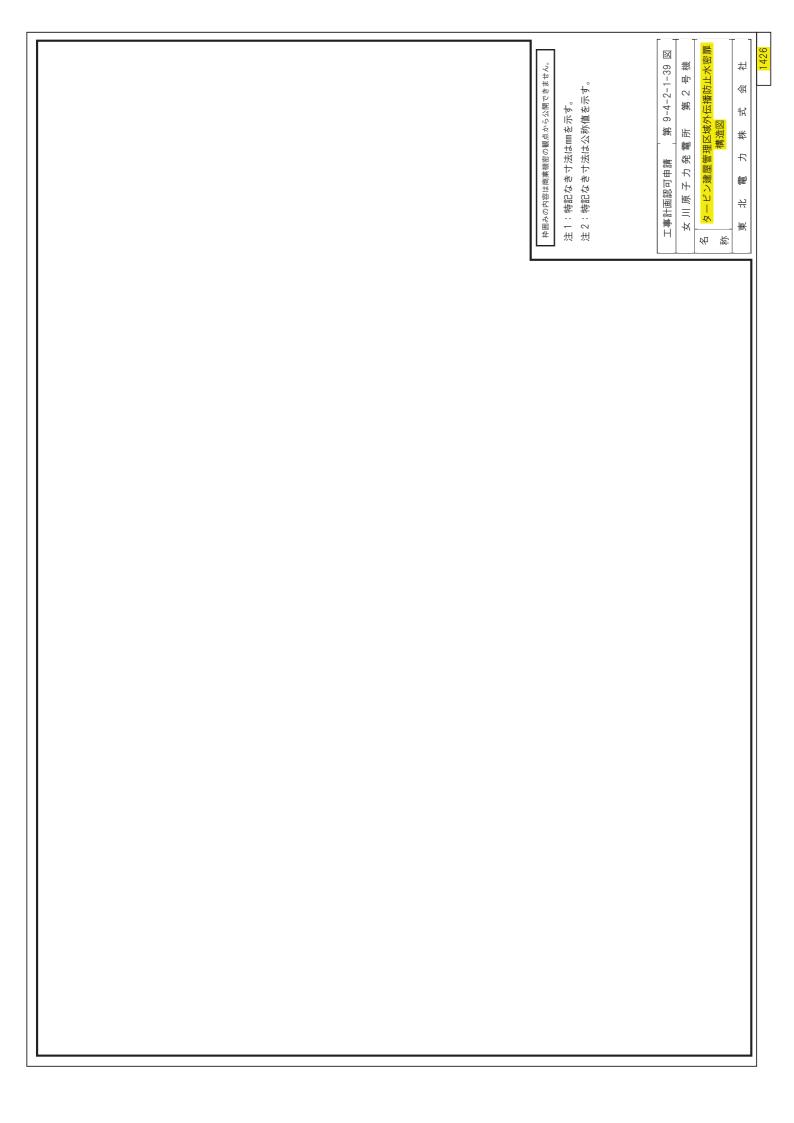
	主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
扉	たて	4600		製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
体	横	4950		同上
小	たて	1880		同上
扉	横	1129		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業 機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。	6	女川原子力発電所 第2号機 名 制御建屋管理区域外伝播防止水密扉 (No1) 維诺図	_ ₩	14.20

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>2332</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>1510</mark>		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。



	主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
扉	たて	2110		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
扉 体	横	1000		同上
パネル①	たて	2120		同上
	横	1090		同上
パネ	たて	2120		同上
パネル②	横	1095		同上
上部パネル①	たて	725		同上
ネル①	横	1010		同上
上部パネ	たて	725		同上
ネ ル ②	横	1090		同上
上部パ	たて	725		同上
上部パネル③	横	1095		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

 株田みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法は、価を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なきす法はの 注2:特記なきす法はの 注2:特記なきす法は 第9-4-2-1-40 図 女川原子力発電所第9-4-2-1-40 図 女川原子力発電所第9-4-2-1-40 図 女川原子力発電所第9-4-2-1-40 図 本川原子力発電所第9-4-2-1-40 図 本川原子力発電所第59-4-2-1-40 図 本川原子力発電所第59-4-2-1-40 図 本1、第9-4-2-1-40 図 第1、1、1、4、4、4、4

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>2310</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1345		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

#囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法はcmmを示す。 注2:特記なき寸法はcmmを示す。 注2:特記なき寸法はcmmを示す。 注2:特記なき寸法はcmmを示す。 注2:特記なき寸法はcmmを示す。 注2:特記なき寸法はcmmを示す。 注2:特記なき寸法はcmmを示す。 注2:特記なきす法はcmmを示す。 注2:特記なきす法はcmmを示す。 注2:特記なきす法はcmmを示す。 注2:特記なきす法はcmmを示す。 方川原子力発電所第50-41回図 新造図 赤 北 武 2 4 松 東 北 電 力 株 式 会 社

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>1360</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>925</mark>		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 事計画認可申請 第9-4-2-1-42 川原子力発電所 第2号	

第9-4-2-1-42図 燃料移送ポンプ(A)室浸水防止水密扉構造図 別紙

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1384		製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
横	934		同上

工事計画記載の公称値の許容範囲

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

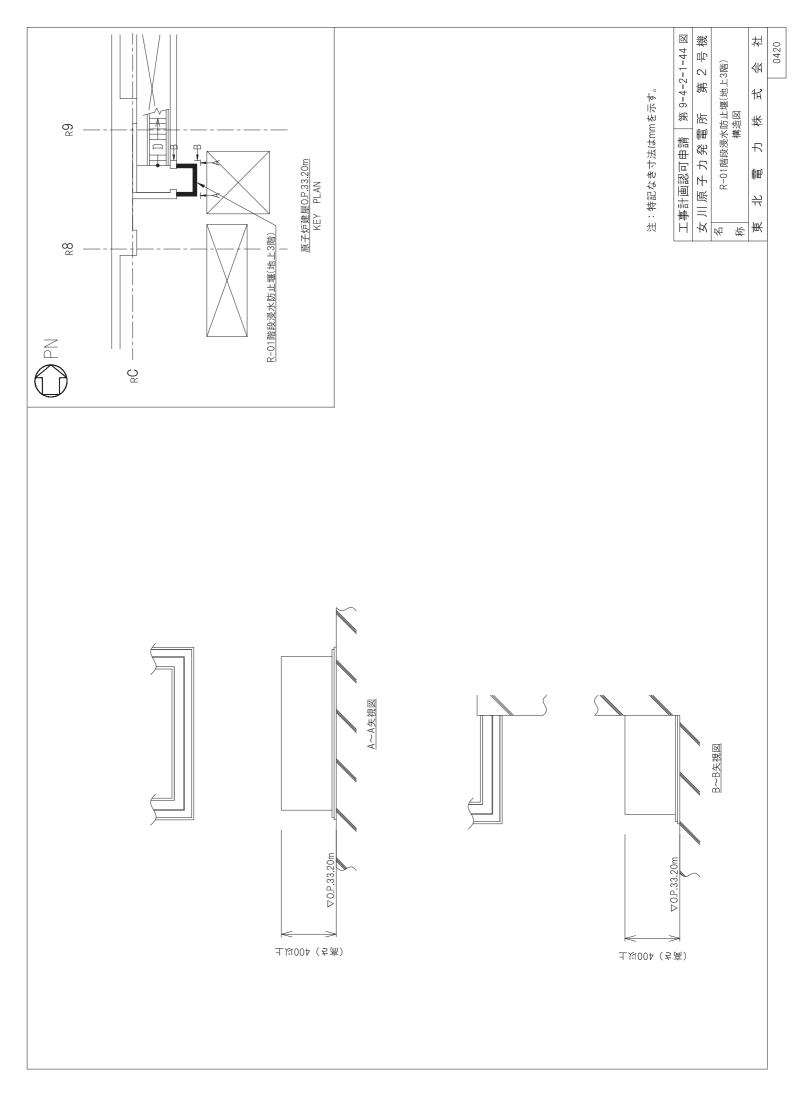
 #BAOD内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注事計画認可申請 第9-4-2-1-43図 女川原子力発電所第29機 本川原子力発電所第29機 都料移送ポンプ(B)室浸水防止水密扉 	 ■ 東北電力株式会社

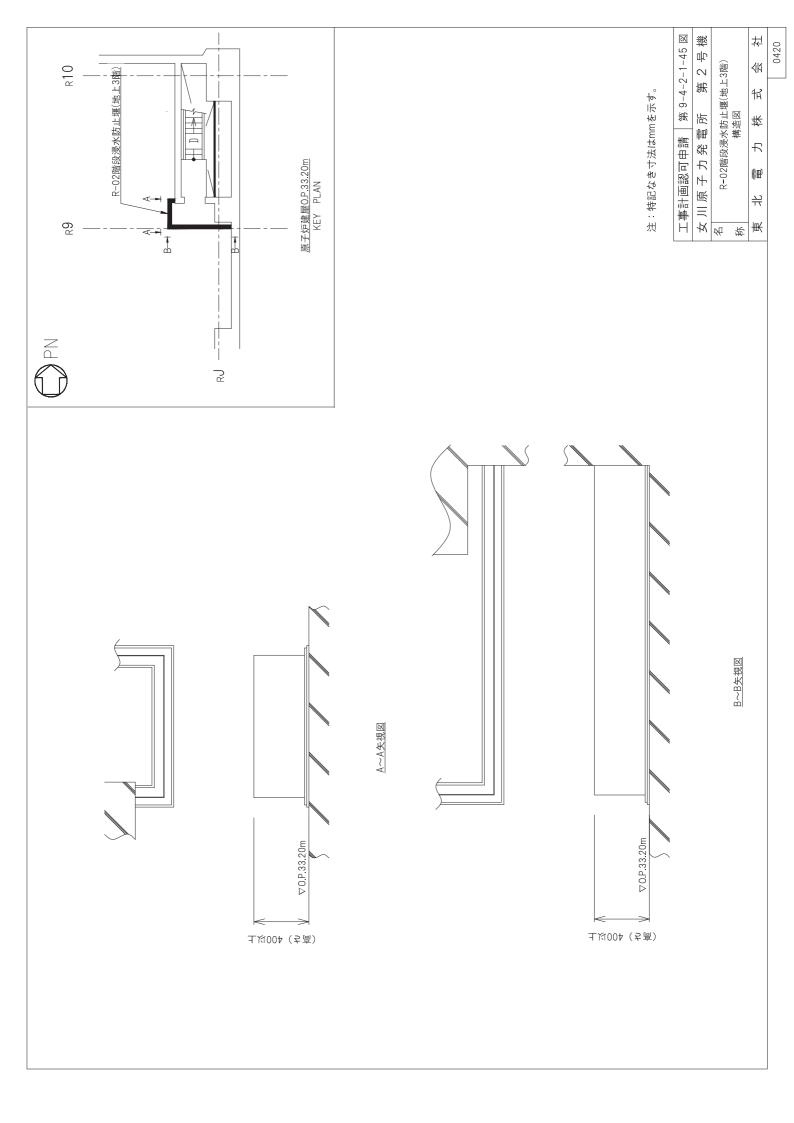
第9-4-2-1-43図 燃料移送ポンプ(B)室浸水防止水密扉構造図 別紙

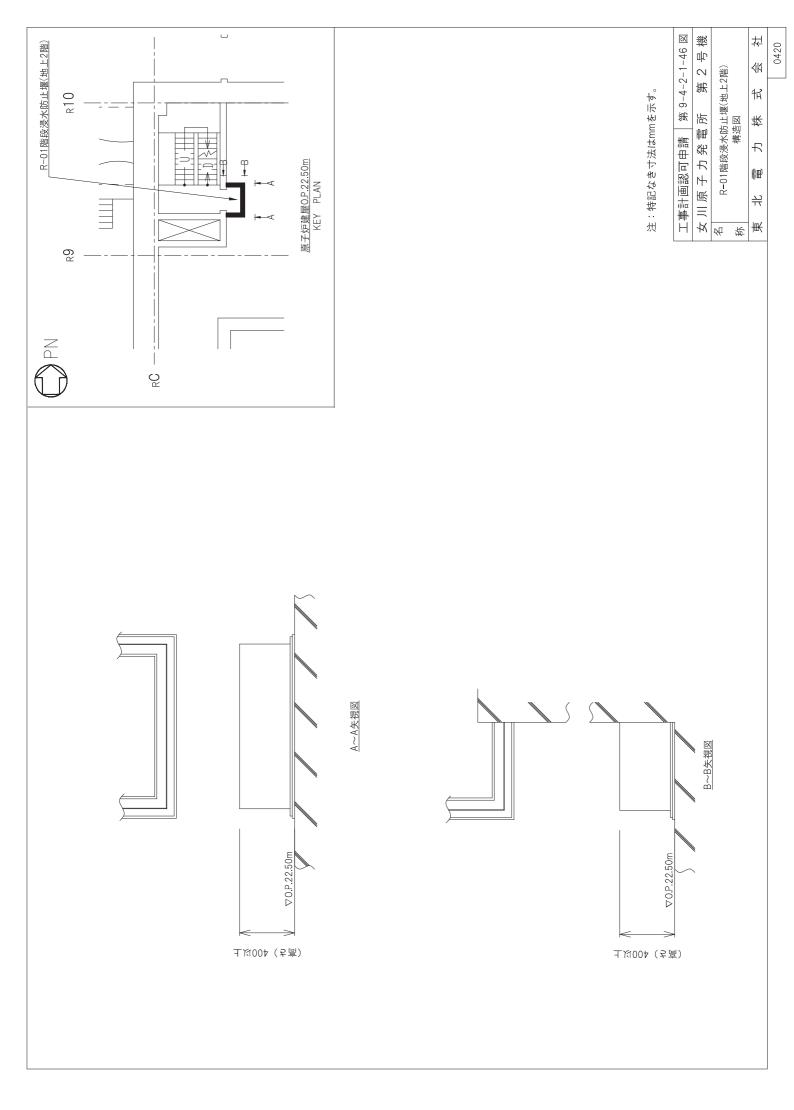
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1384		製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
横	934		同上

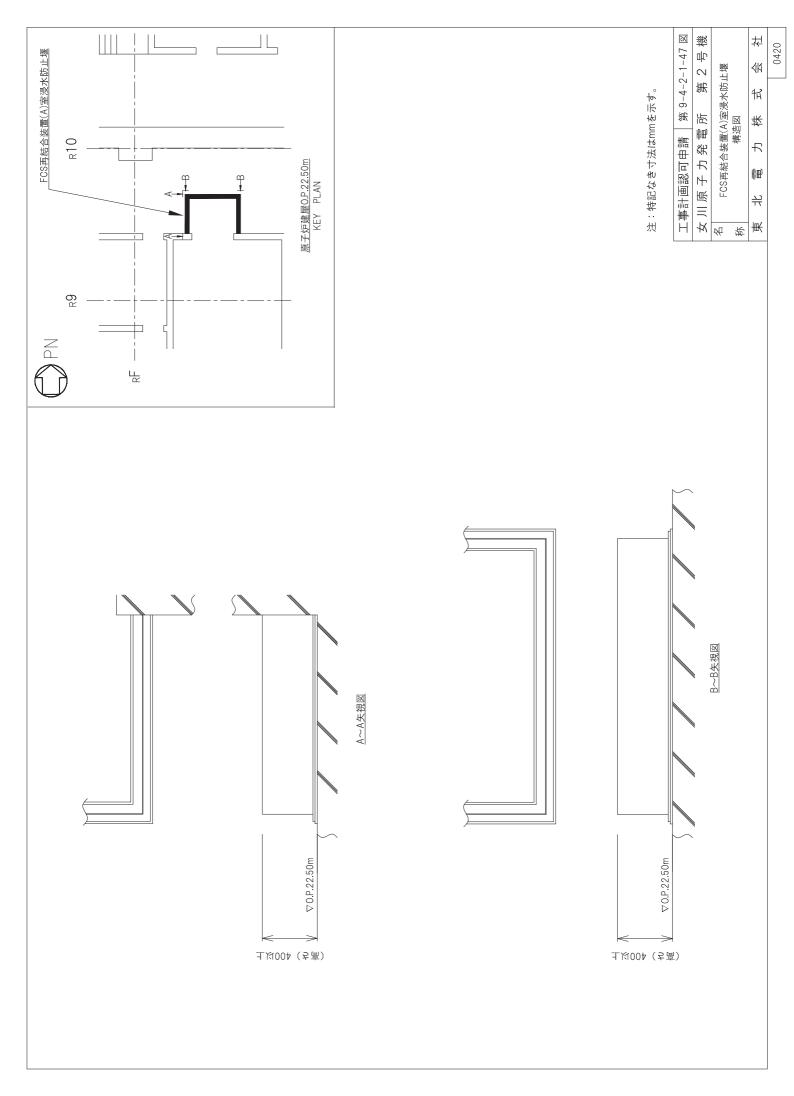
工事計画記載の公称値の許容範囲

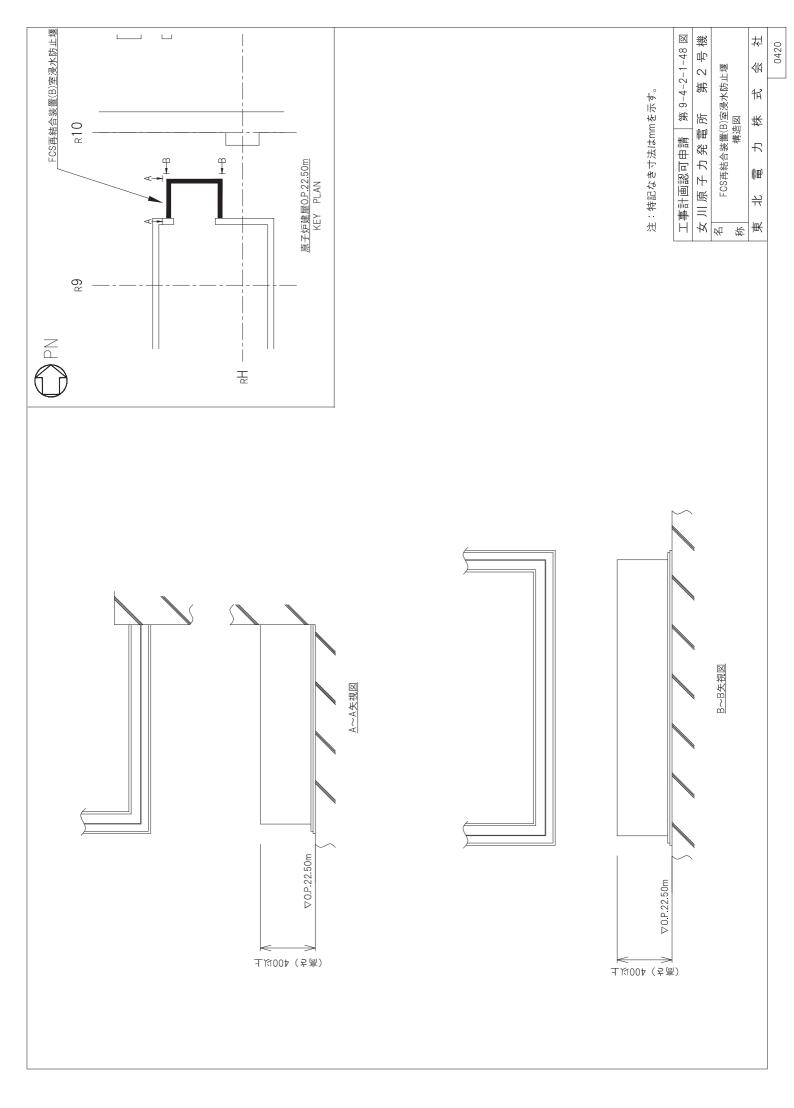
注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

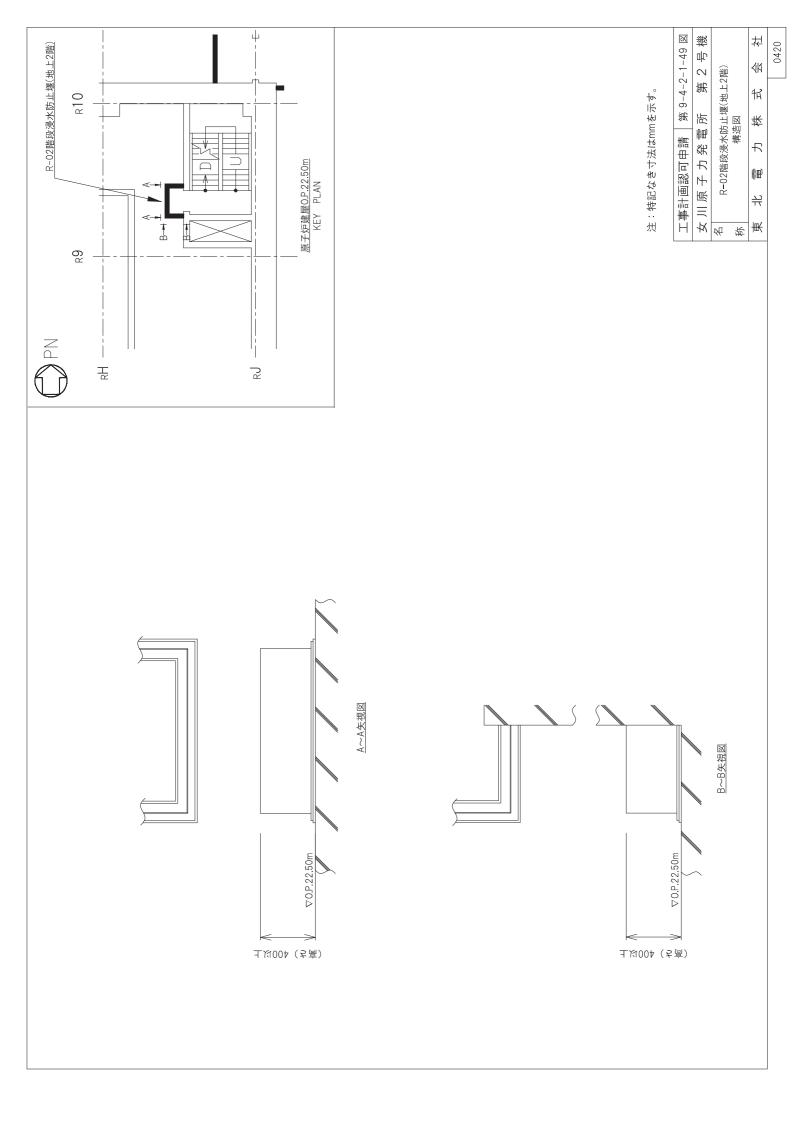


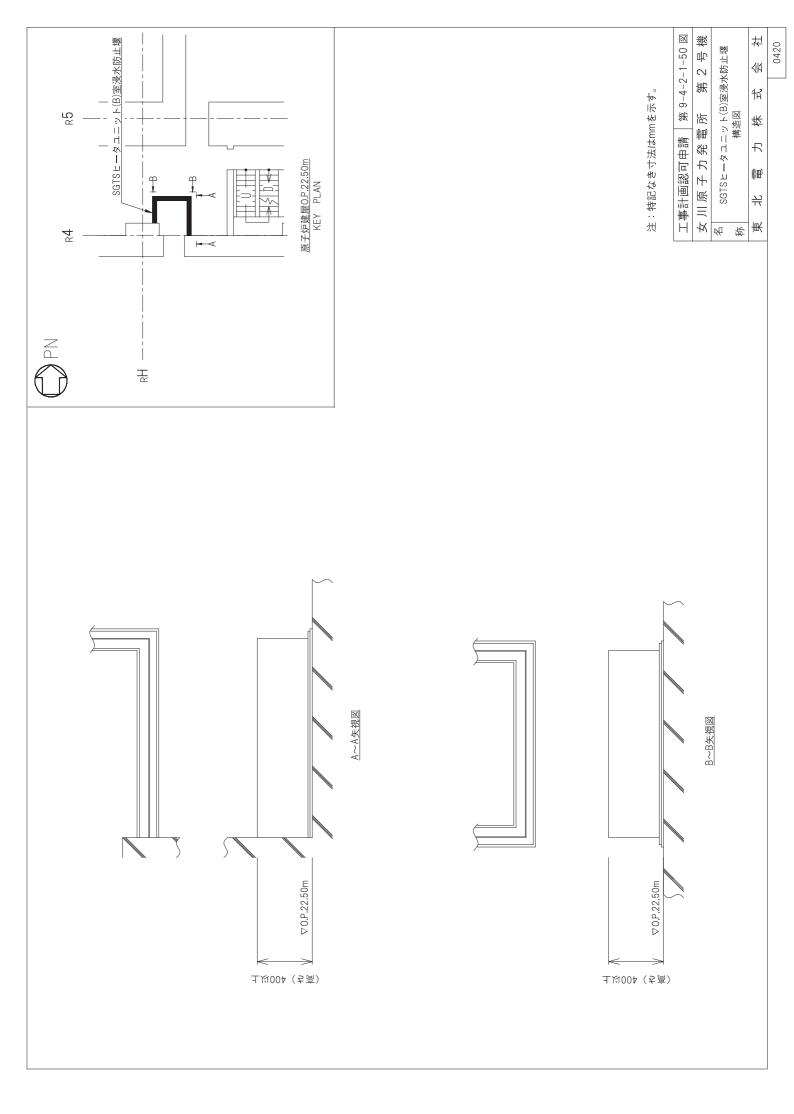


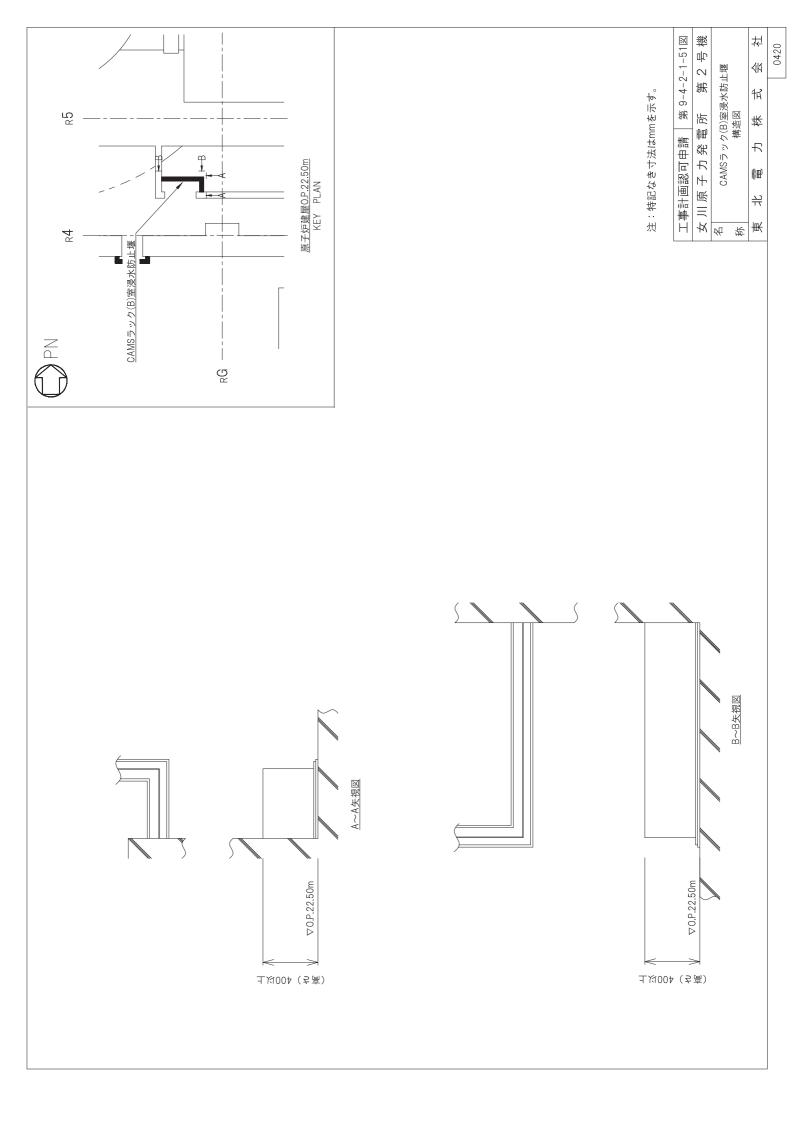


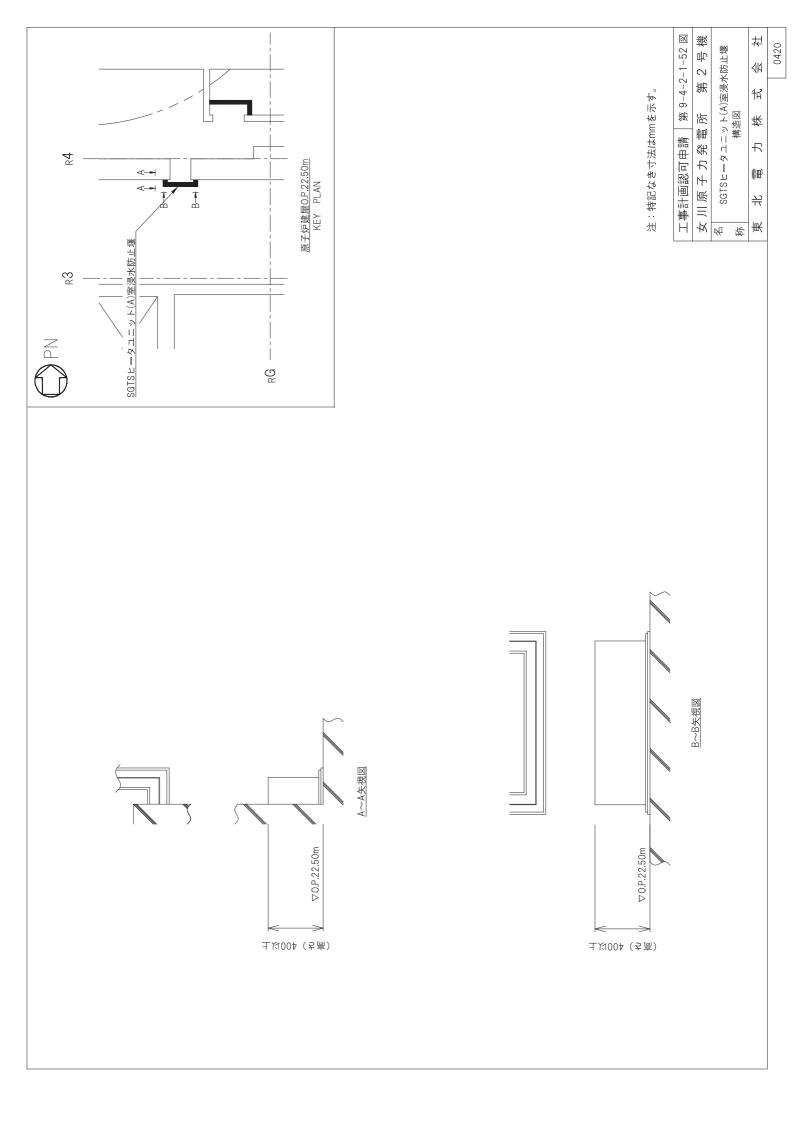


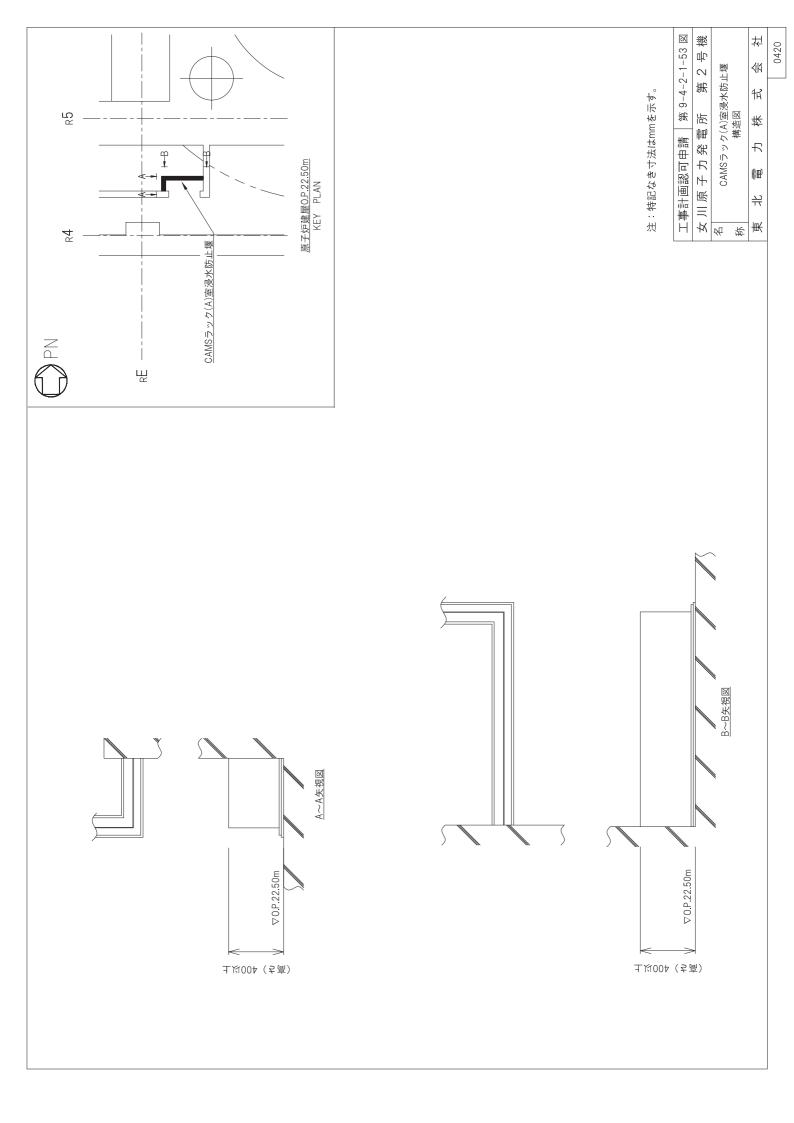


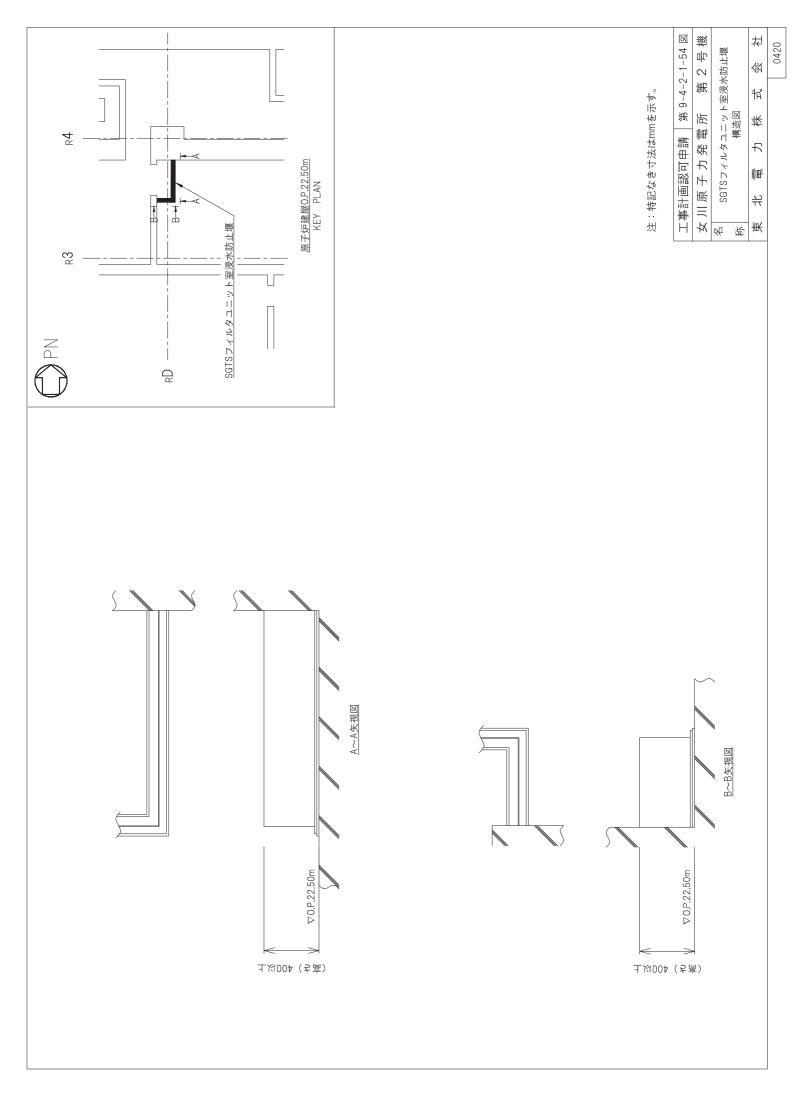


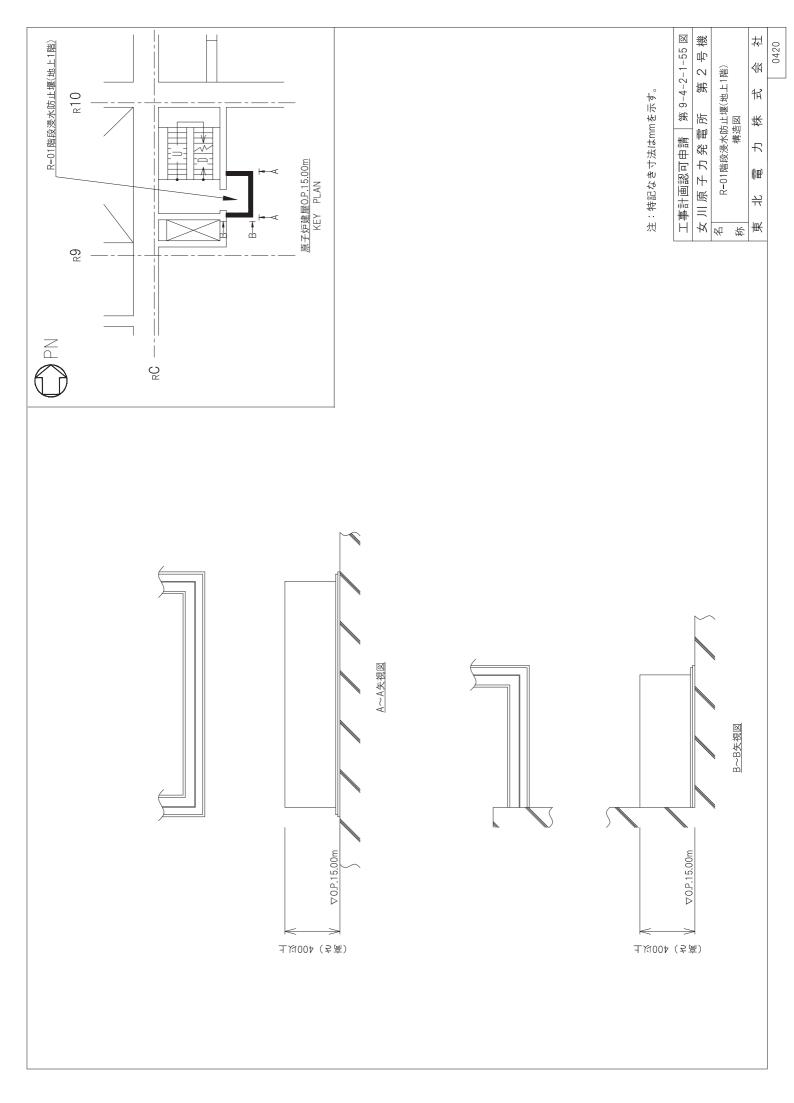


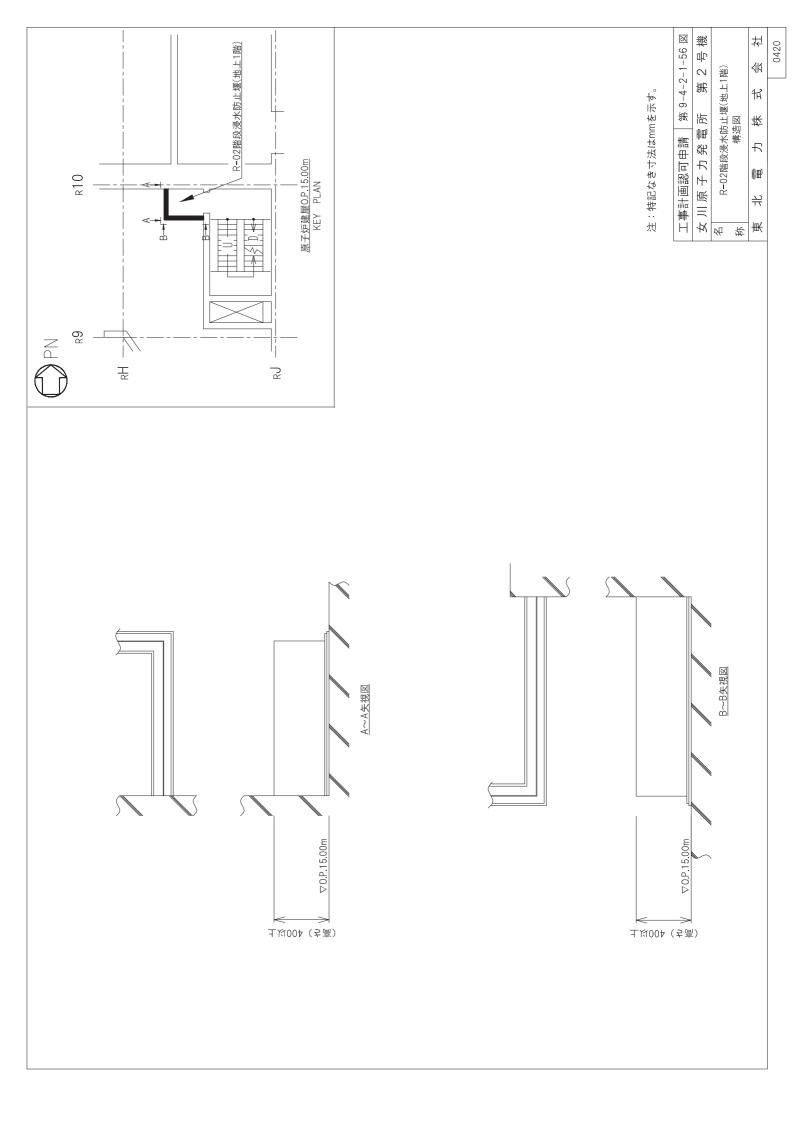


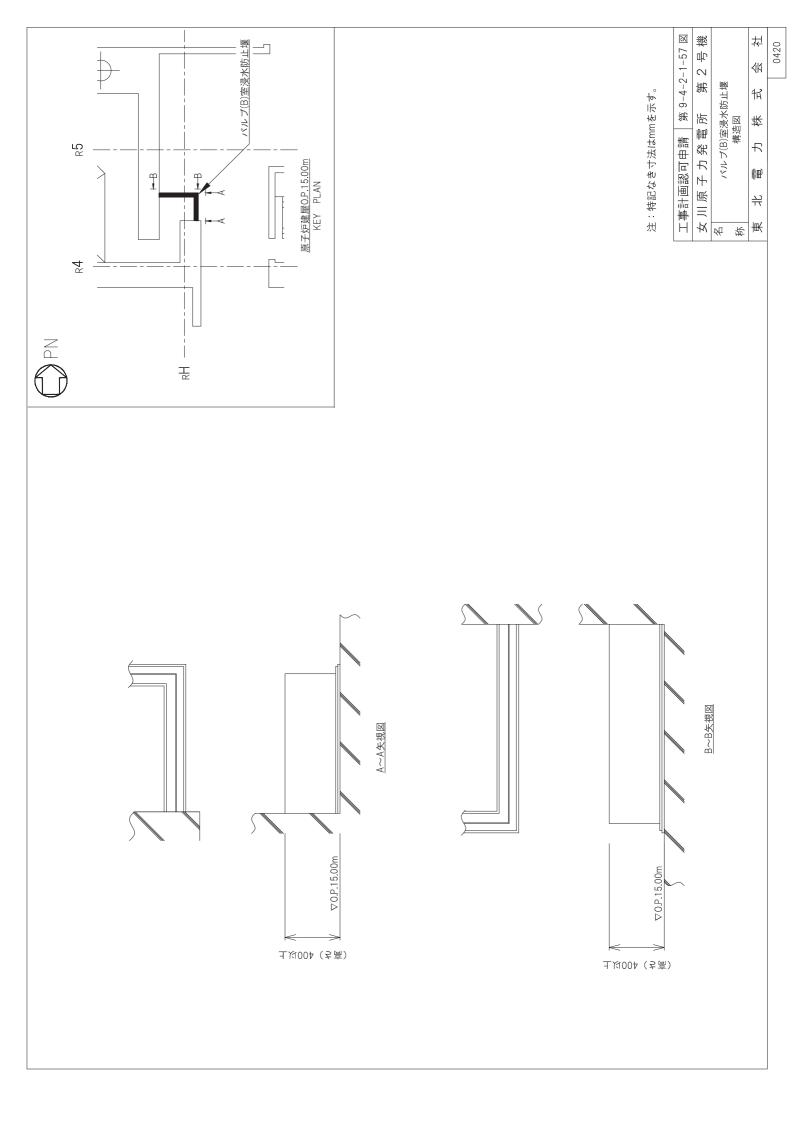


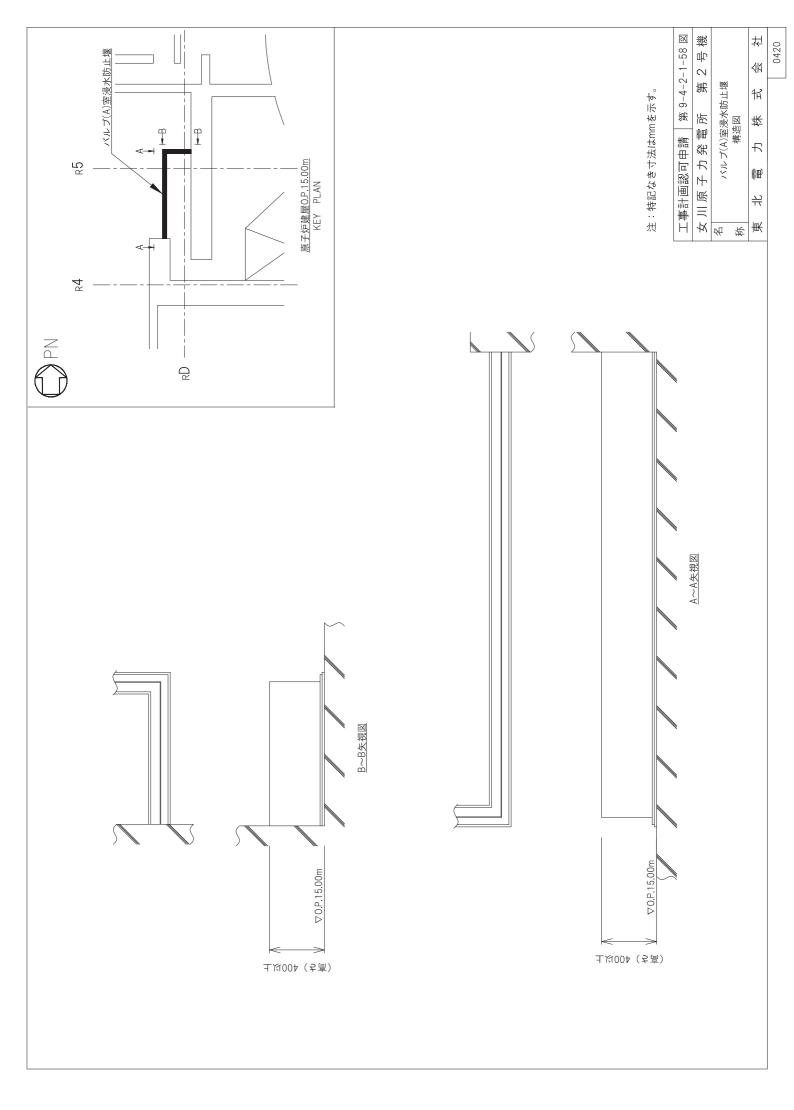


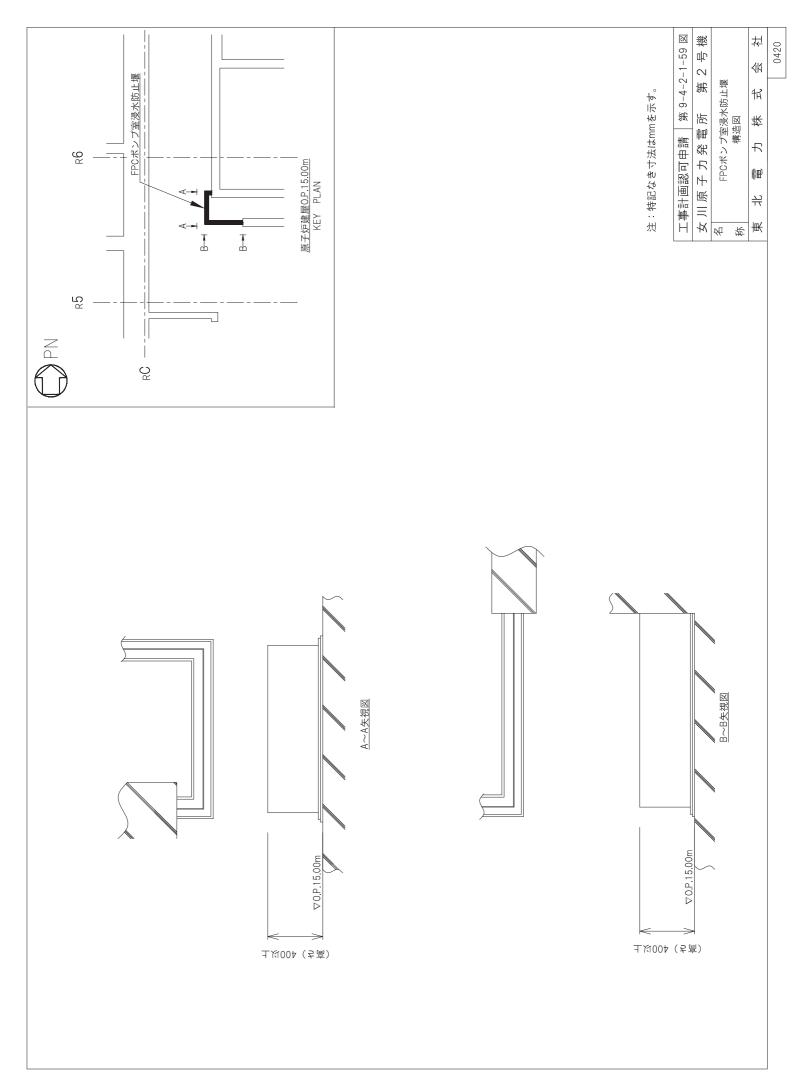


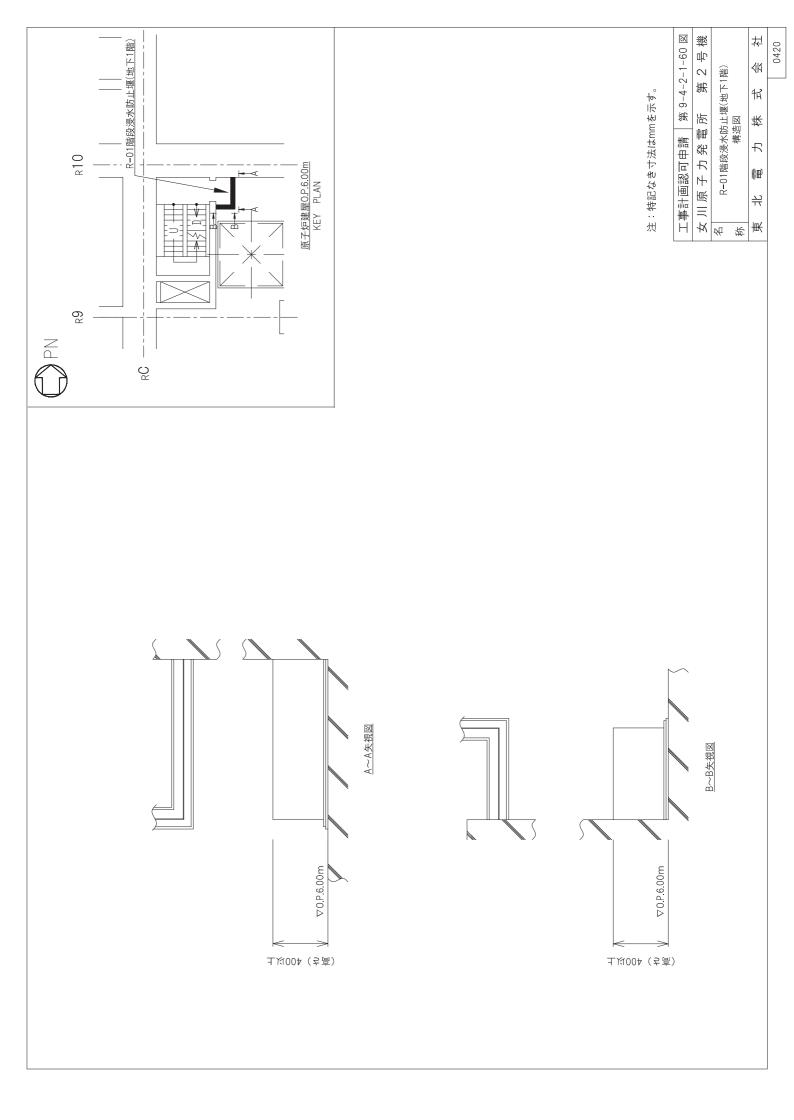


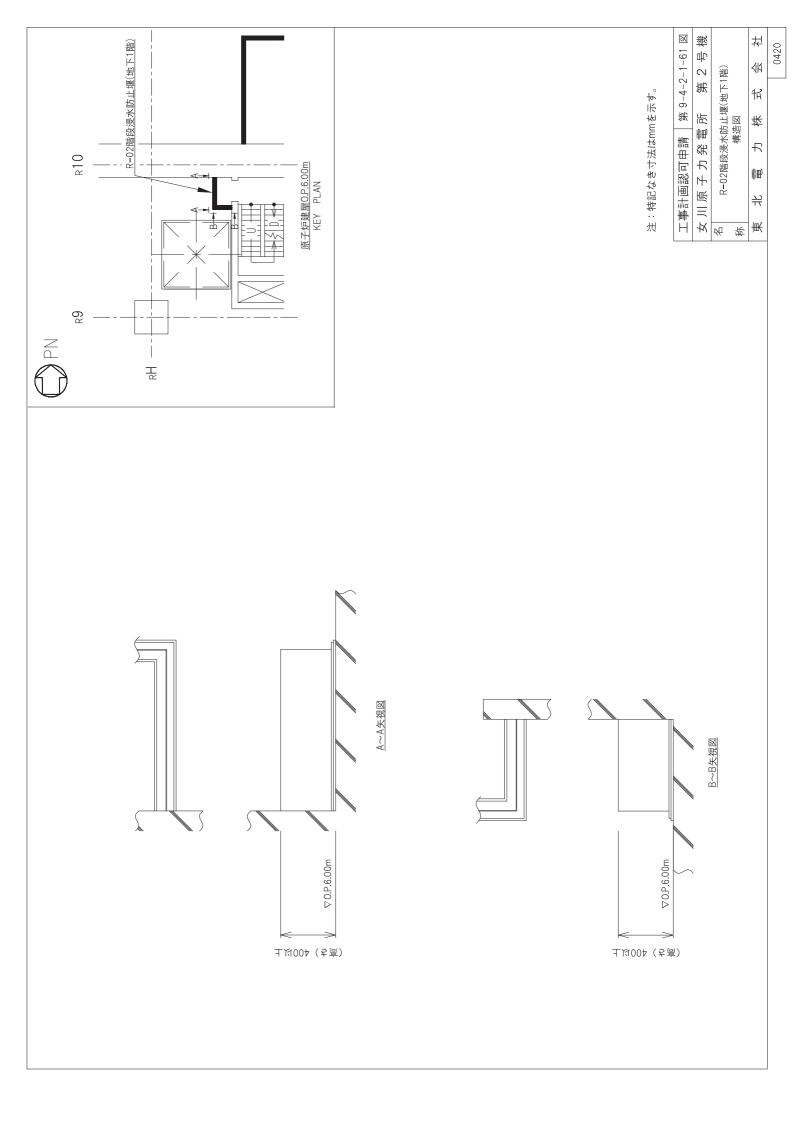


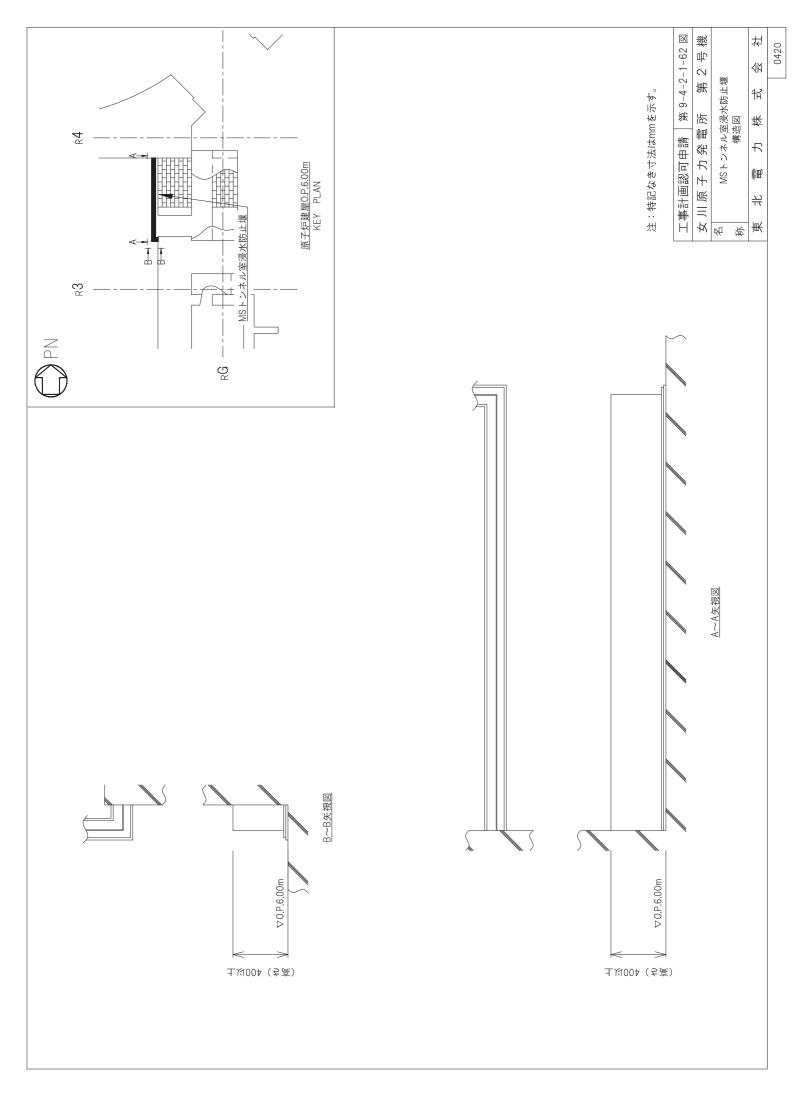


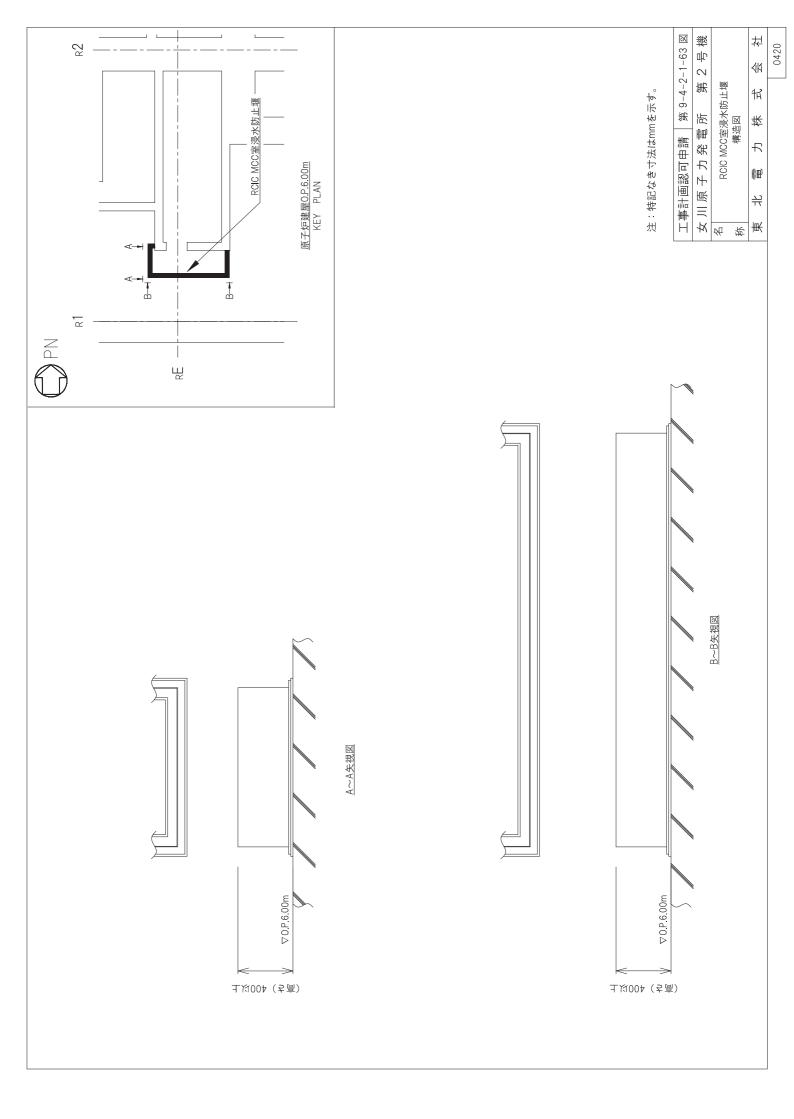


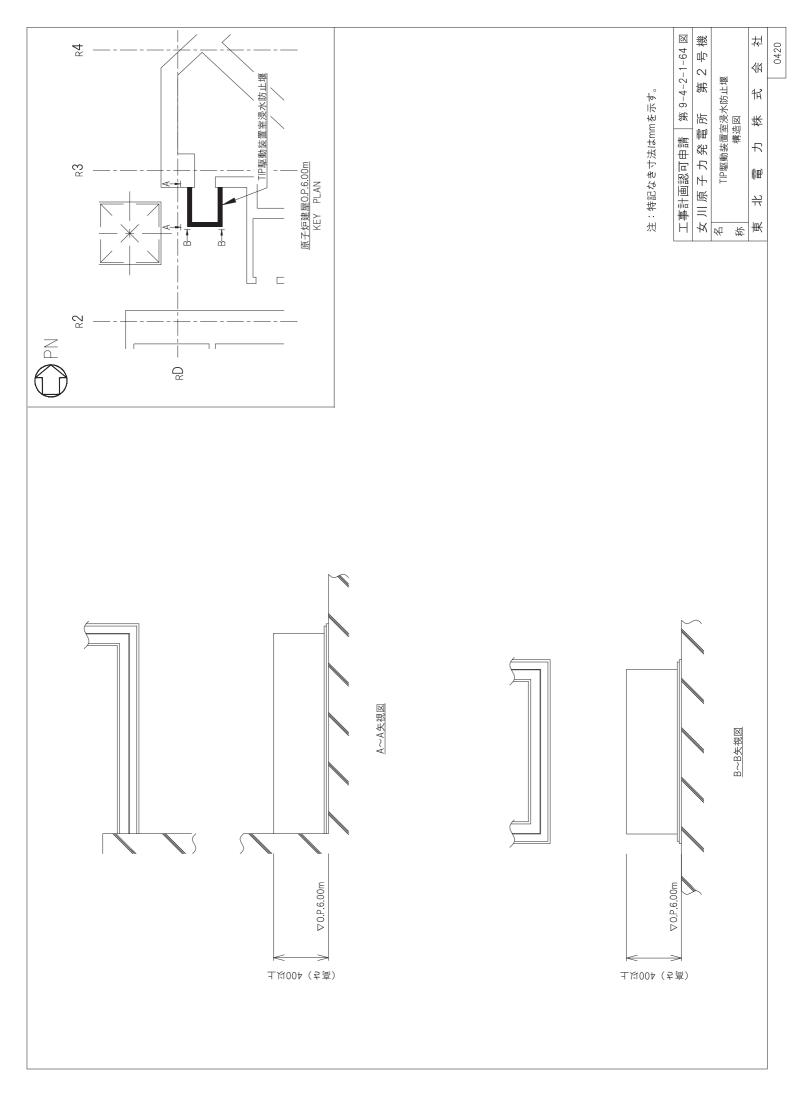


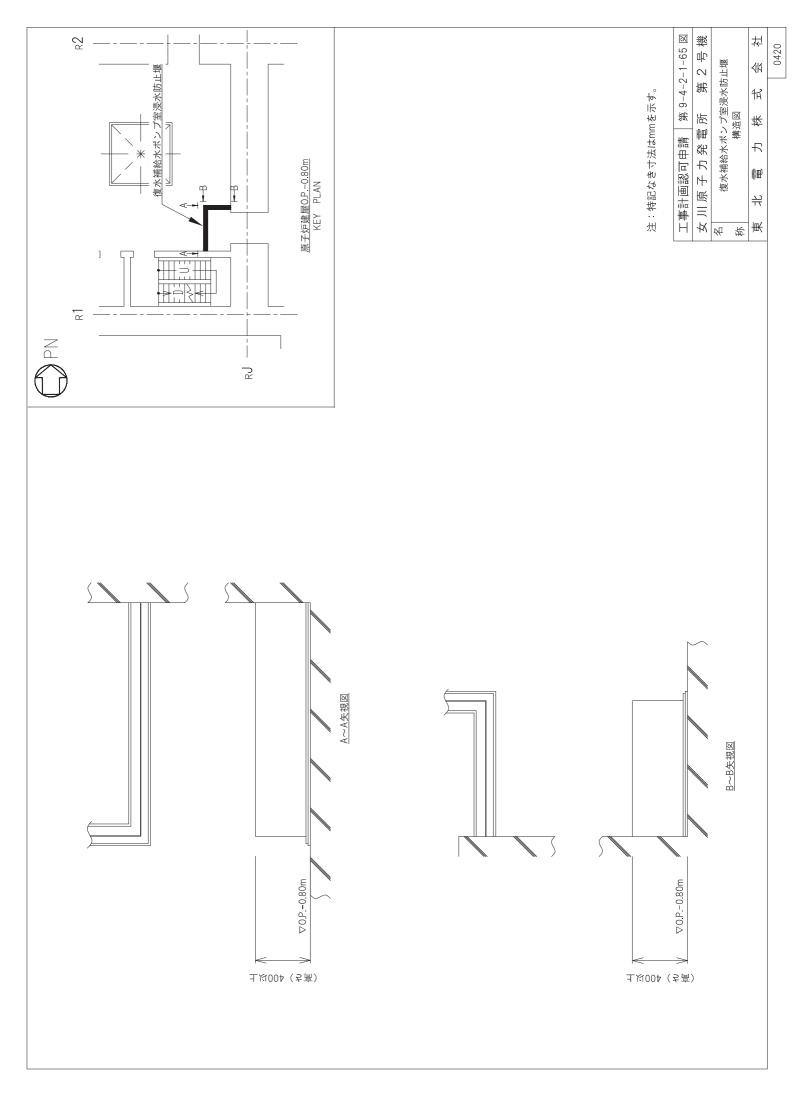


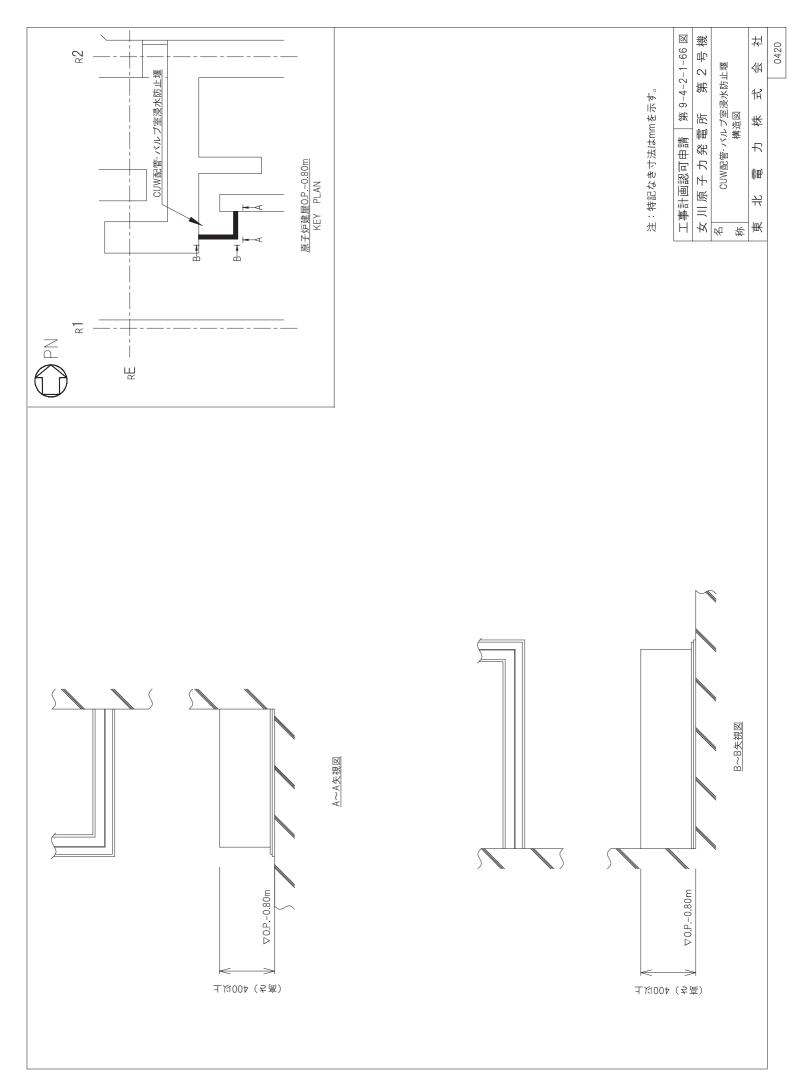


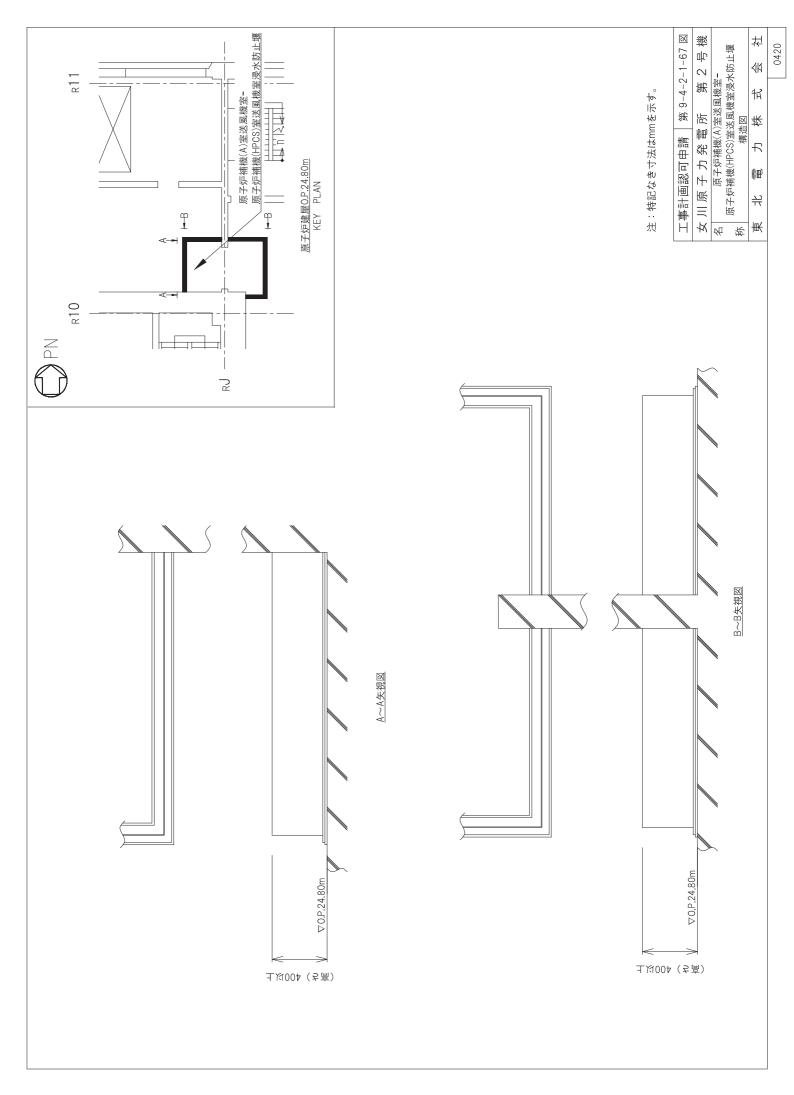


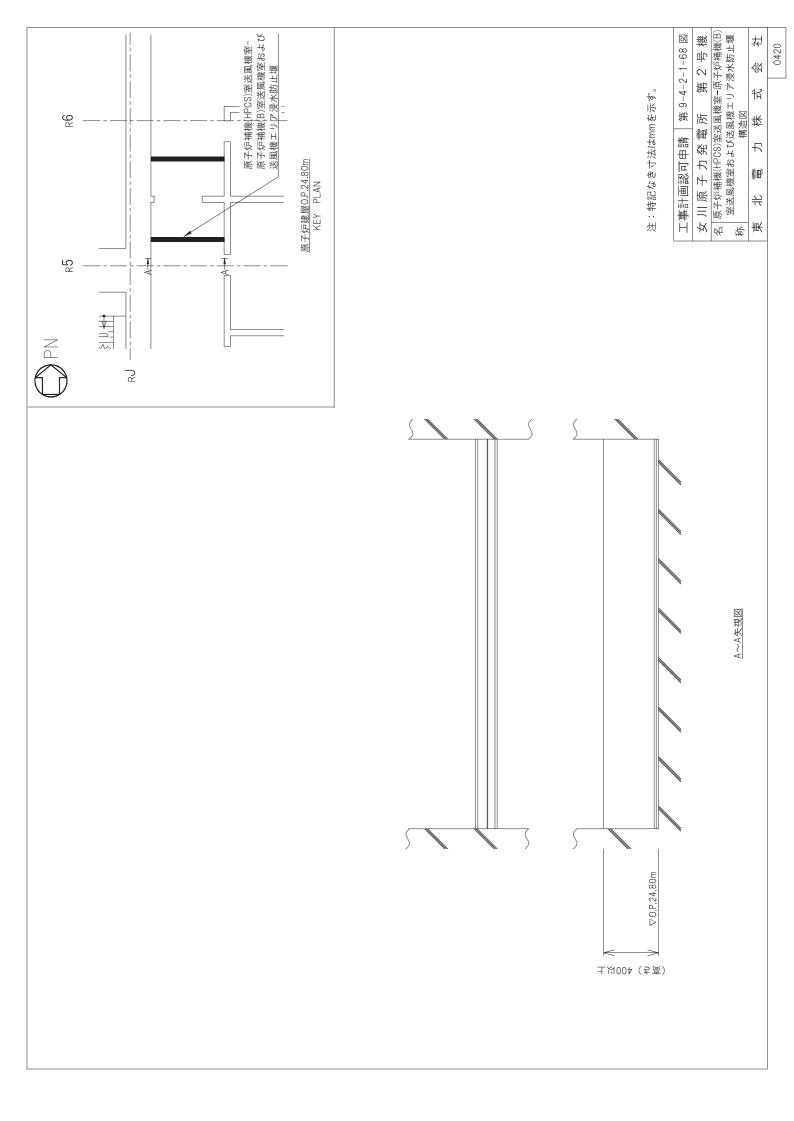


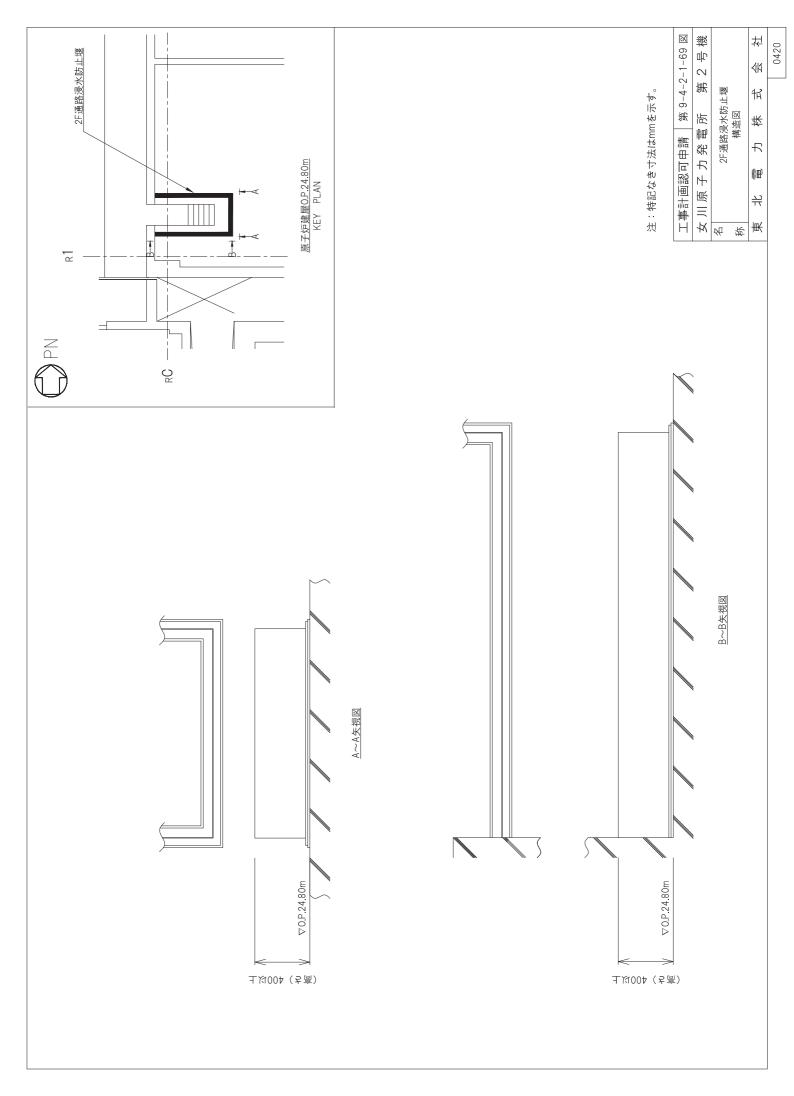


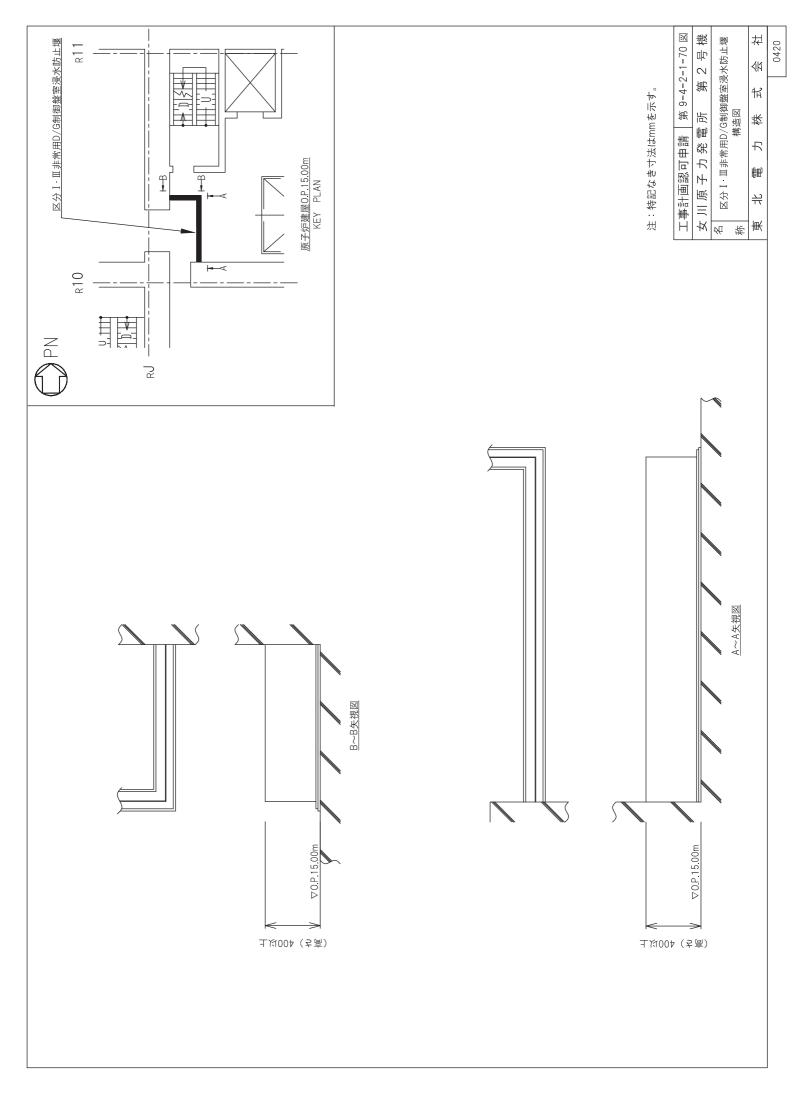


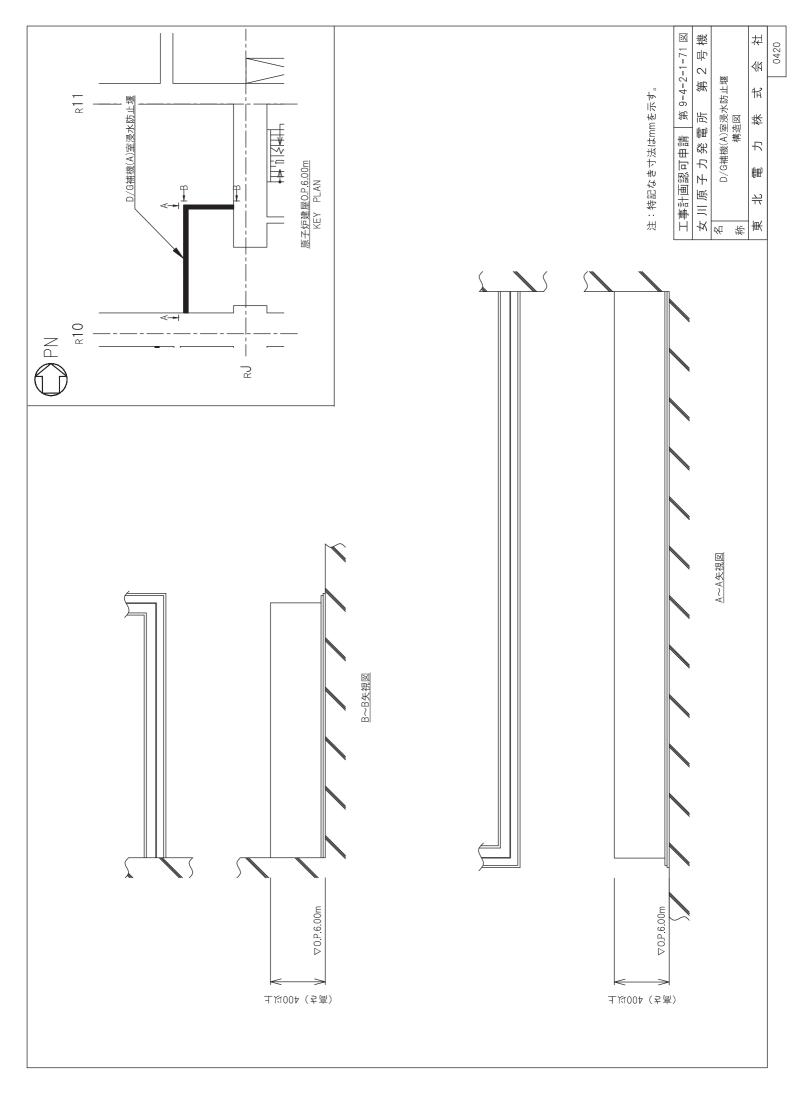


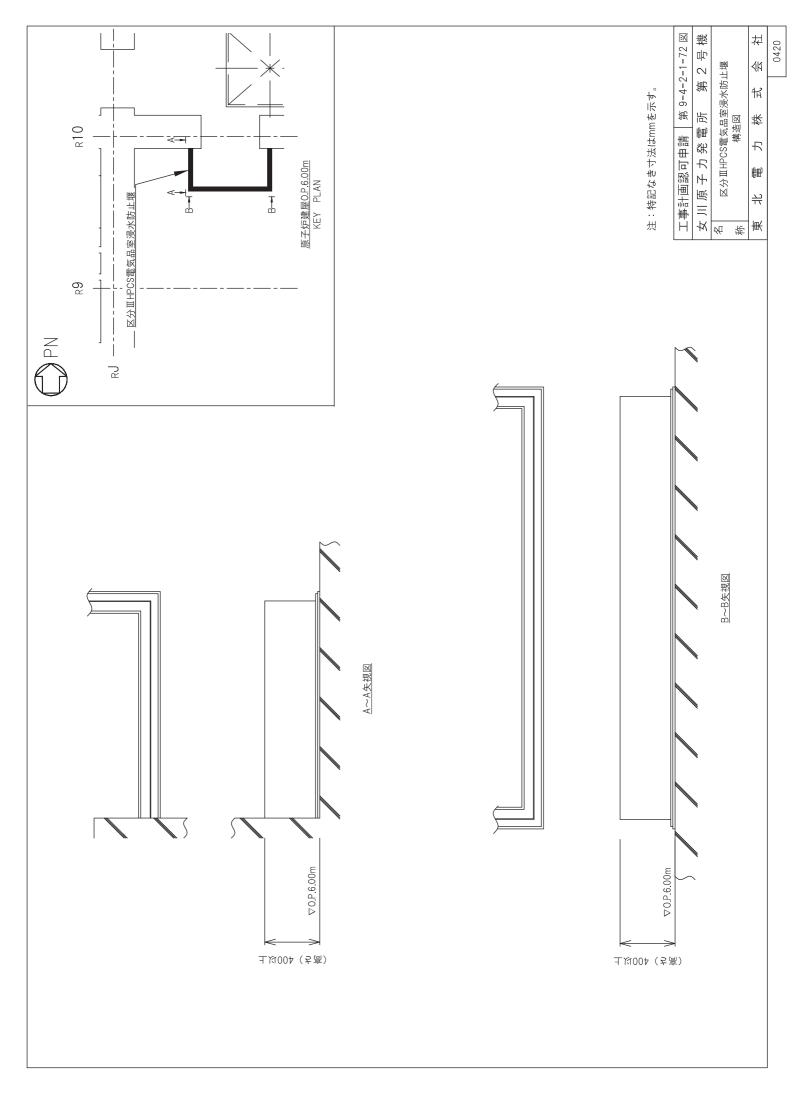


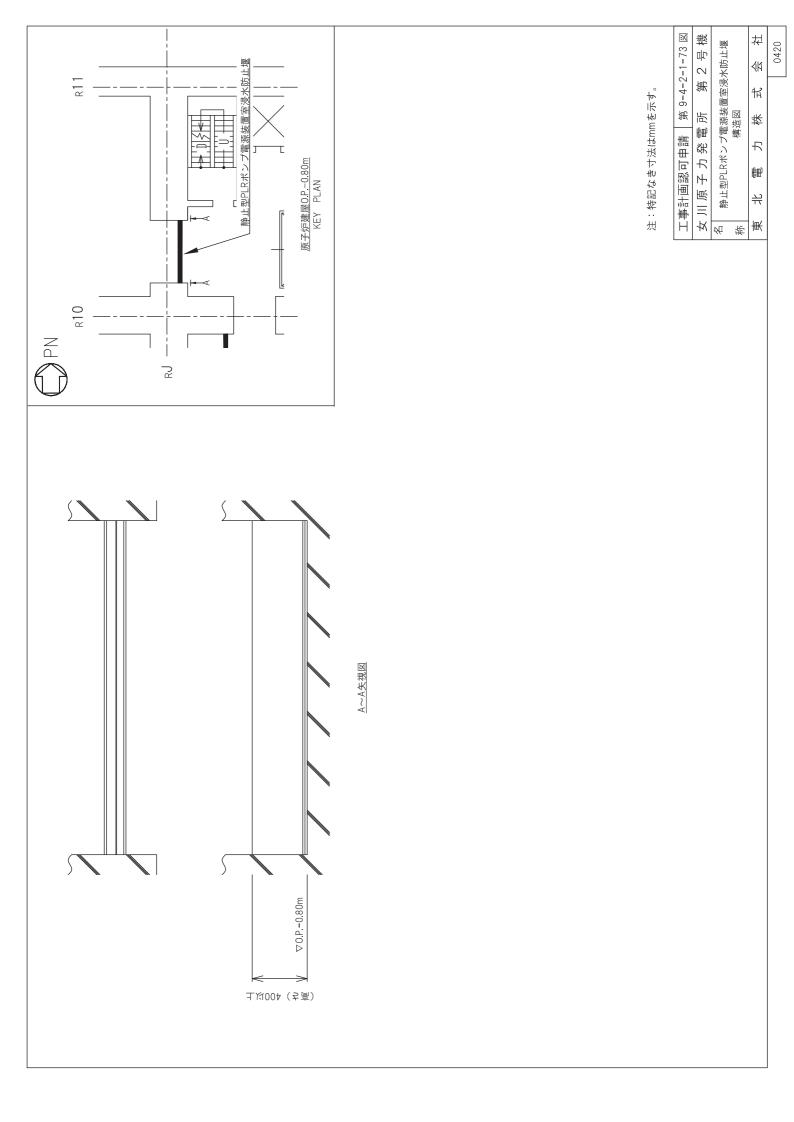


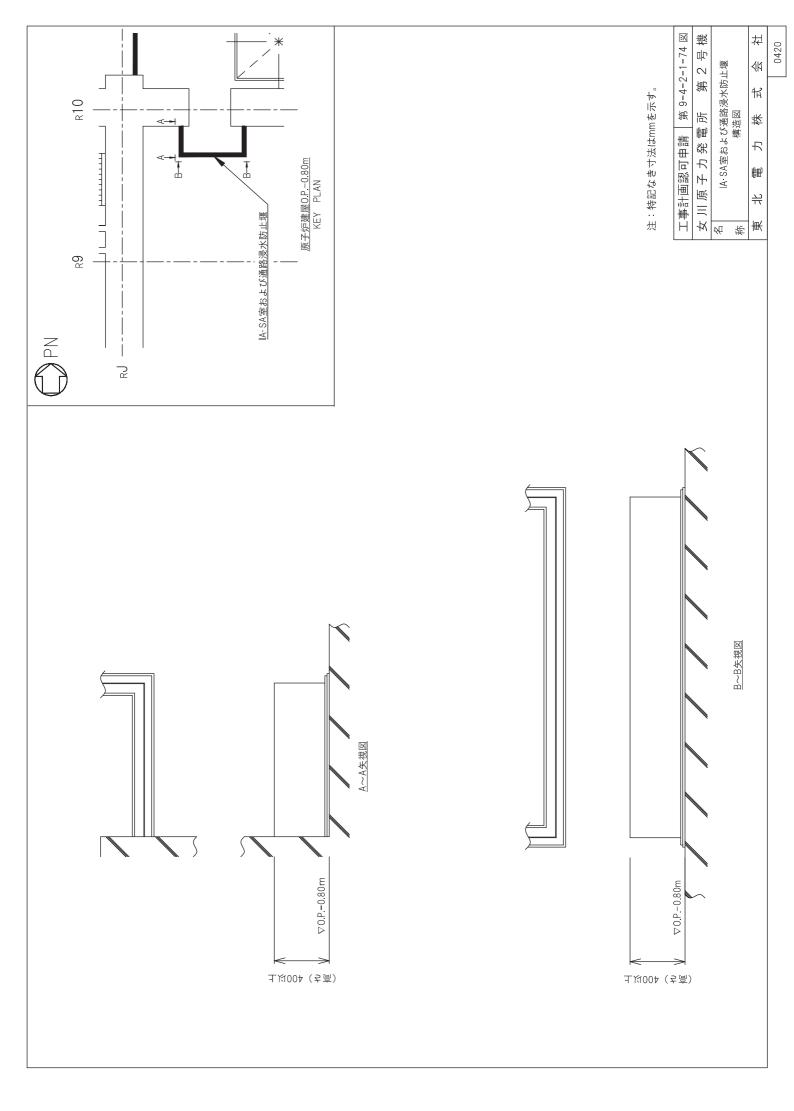


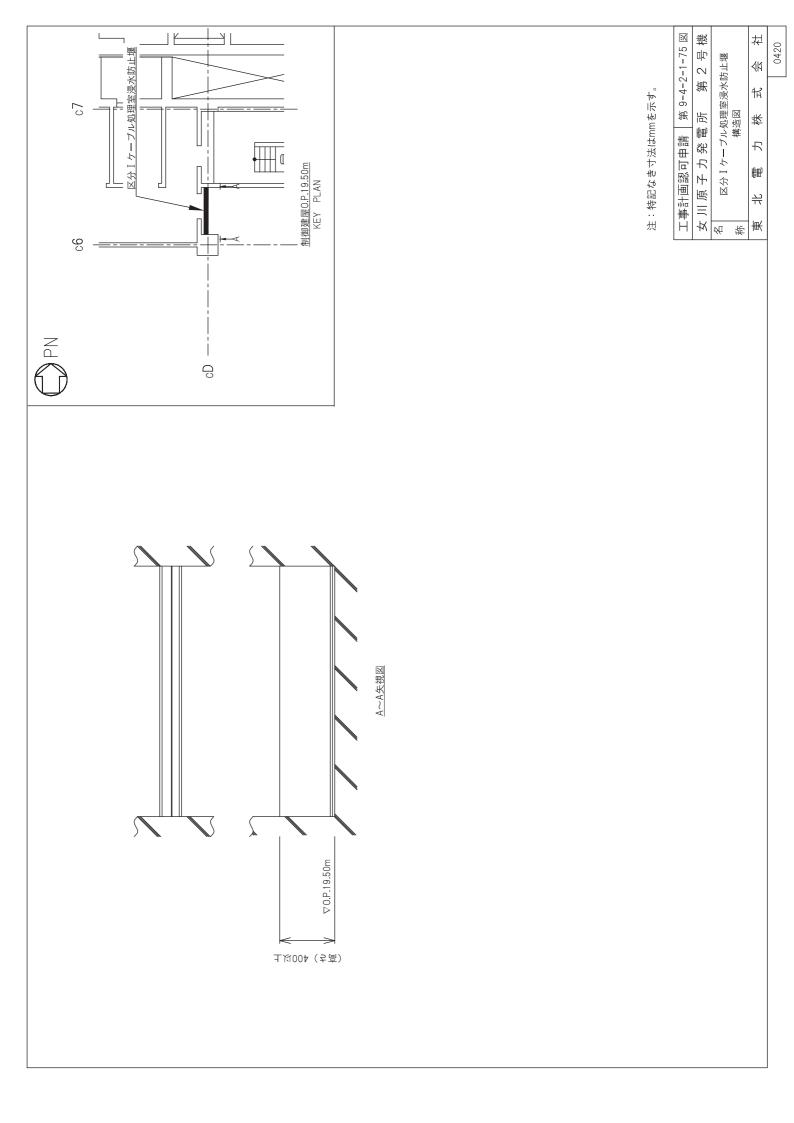


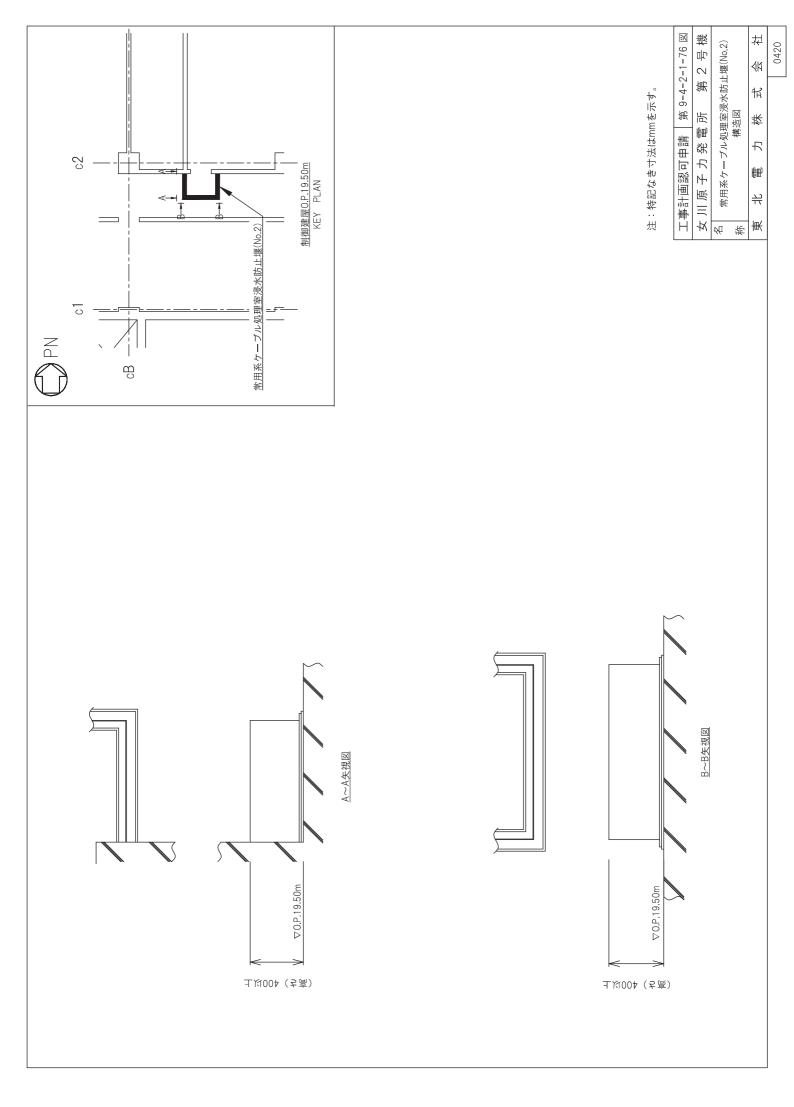


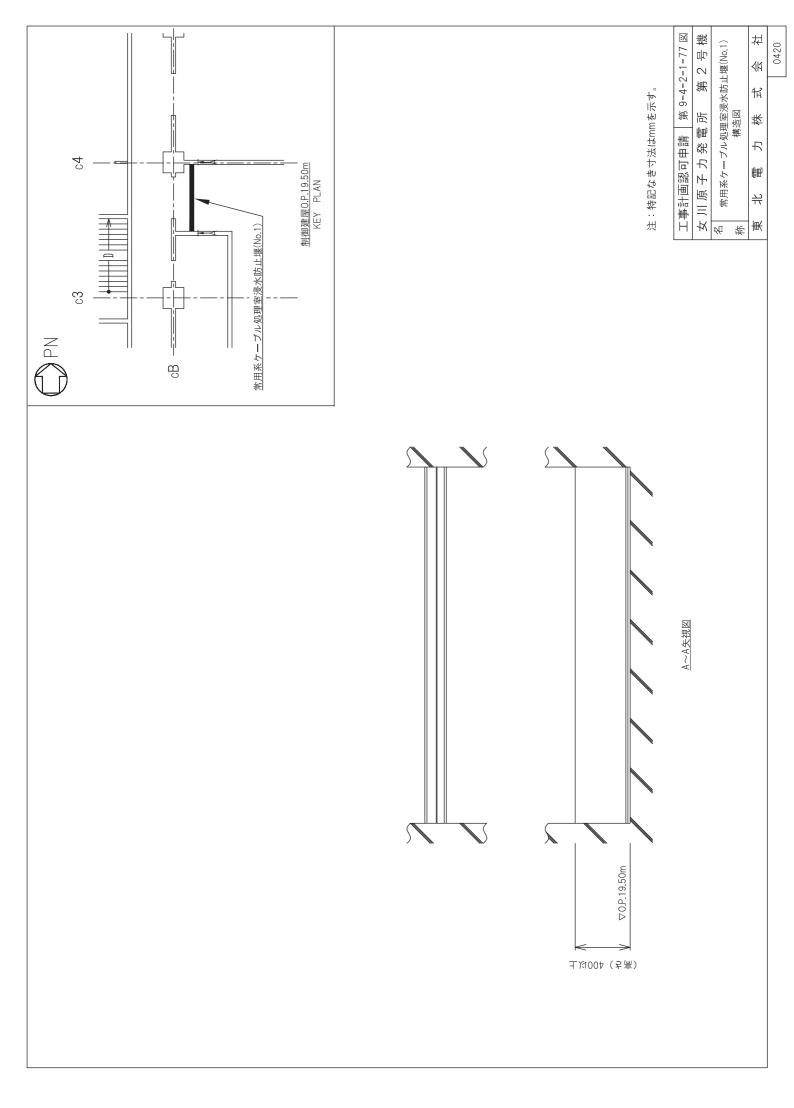


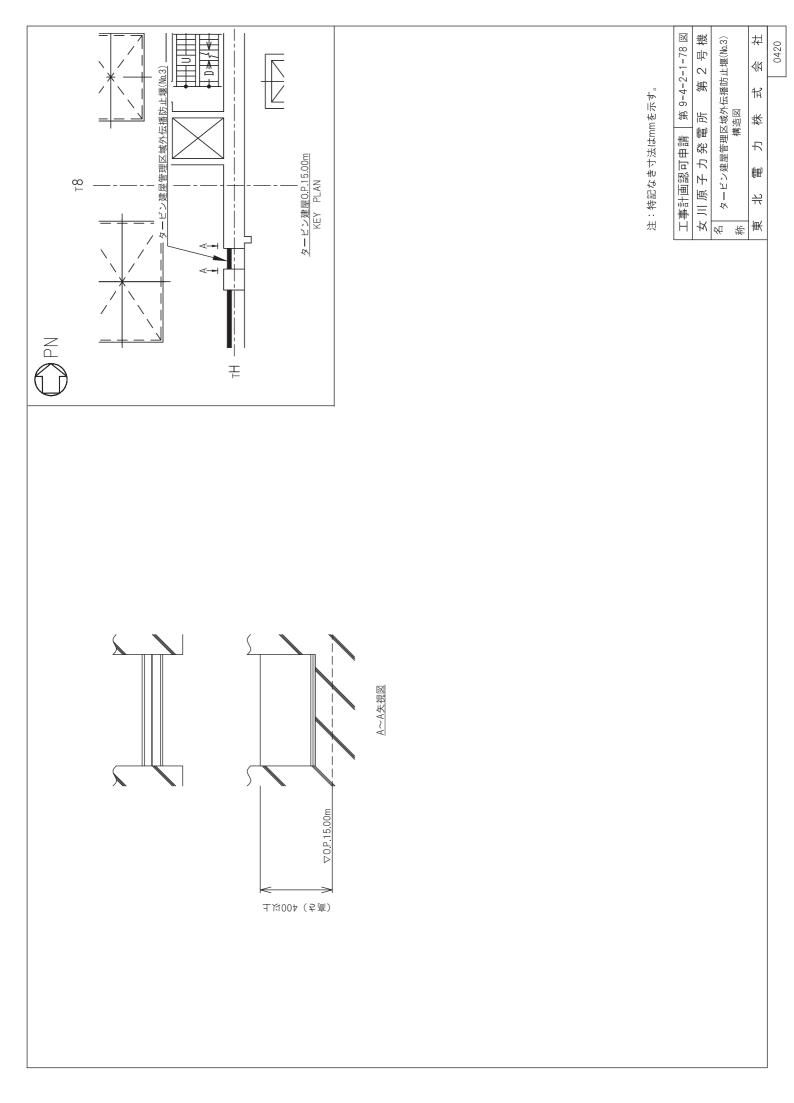


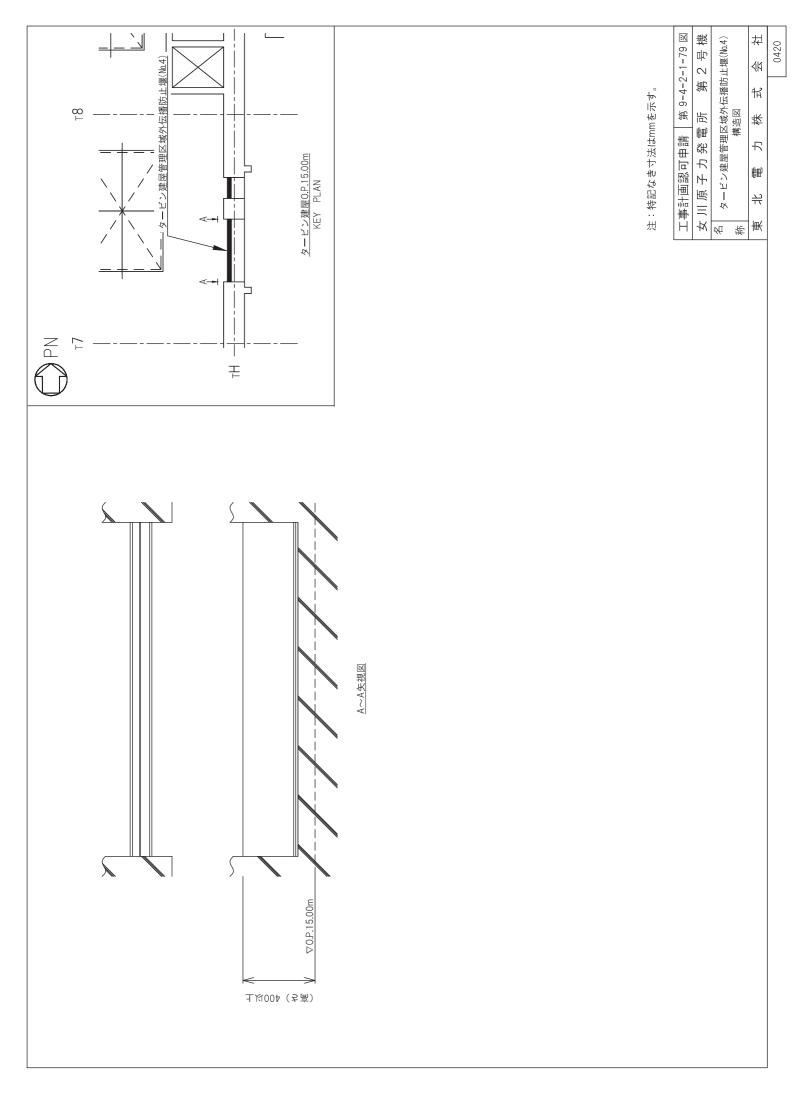


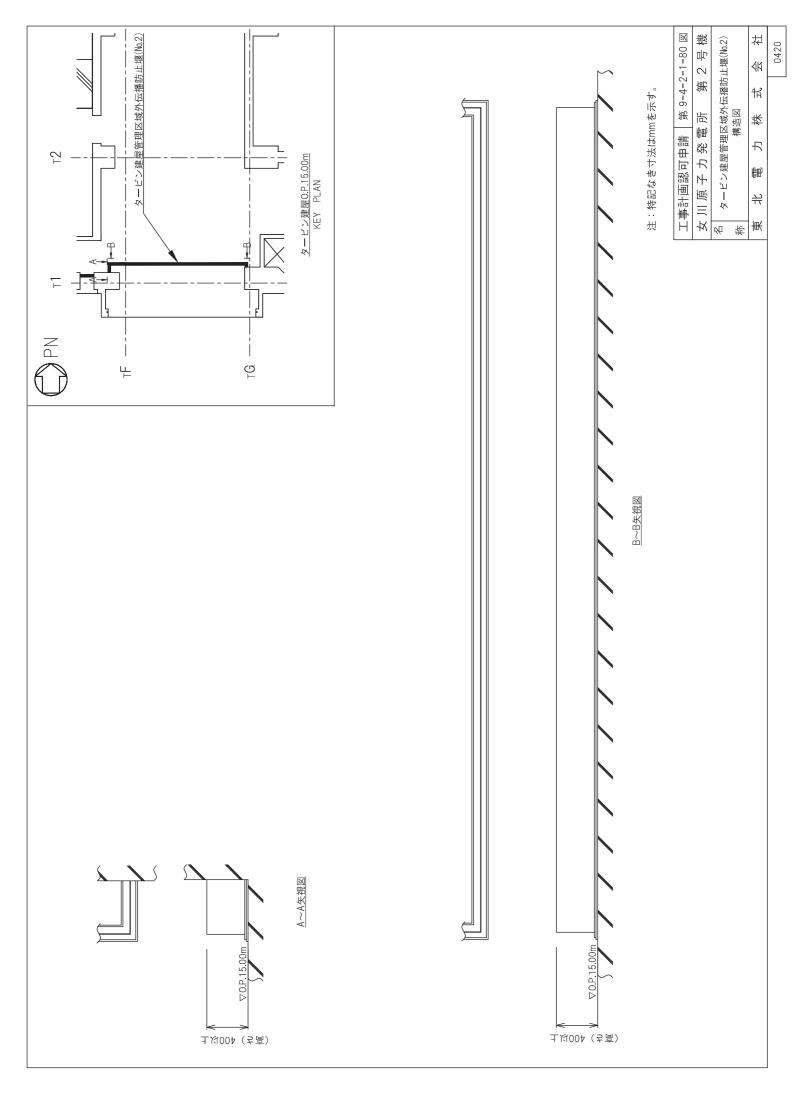


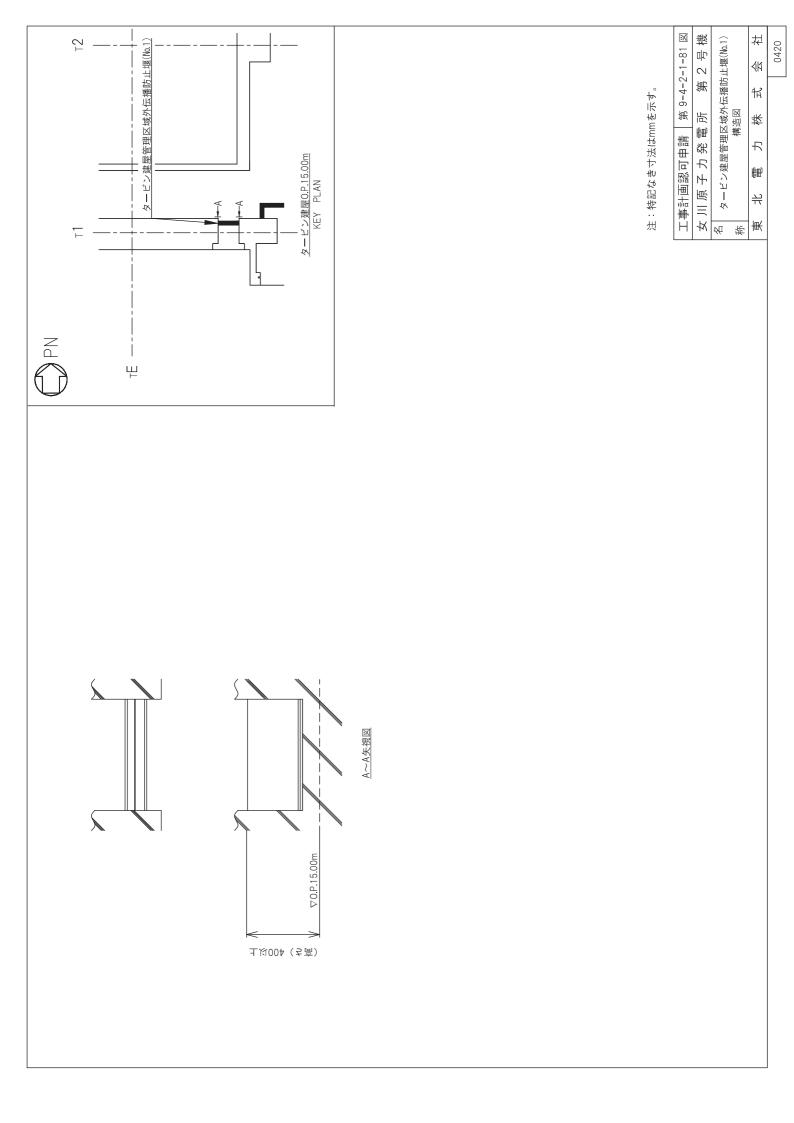


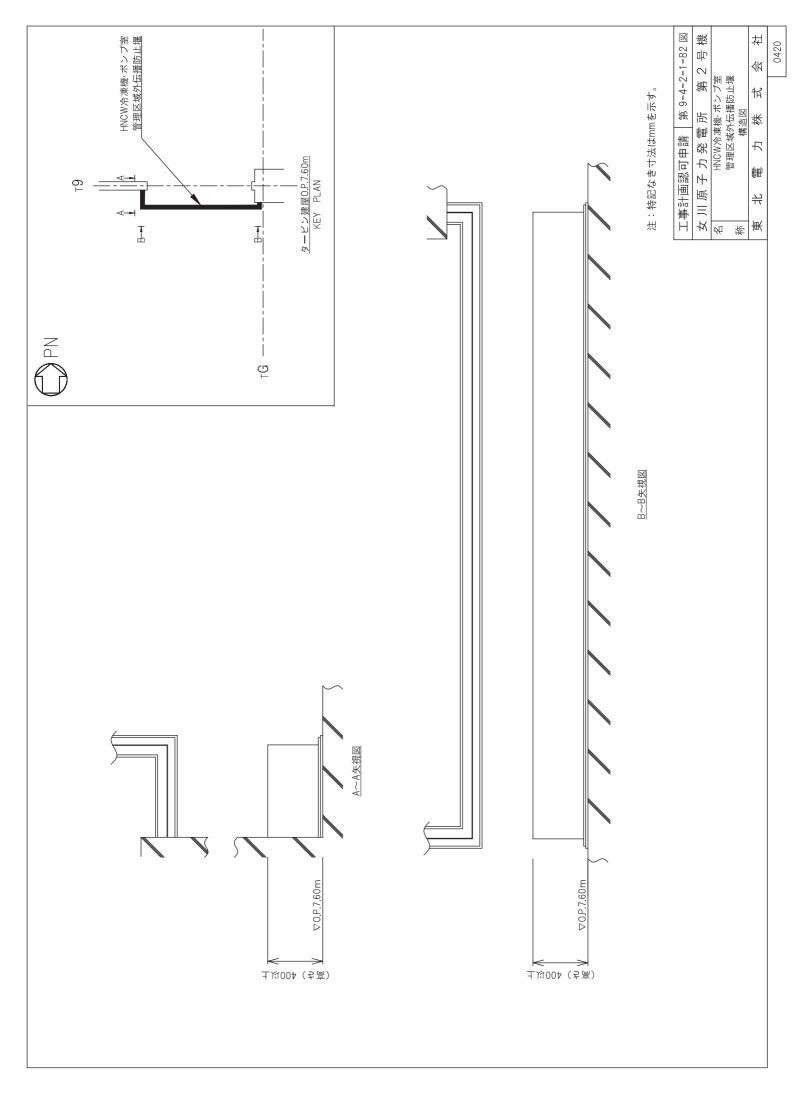


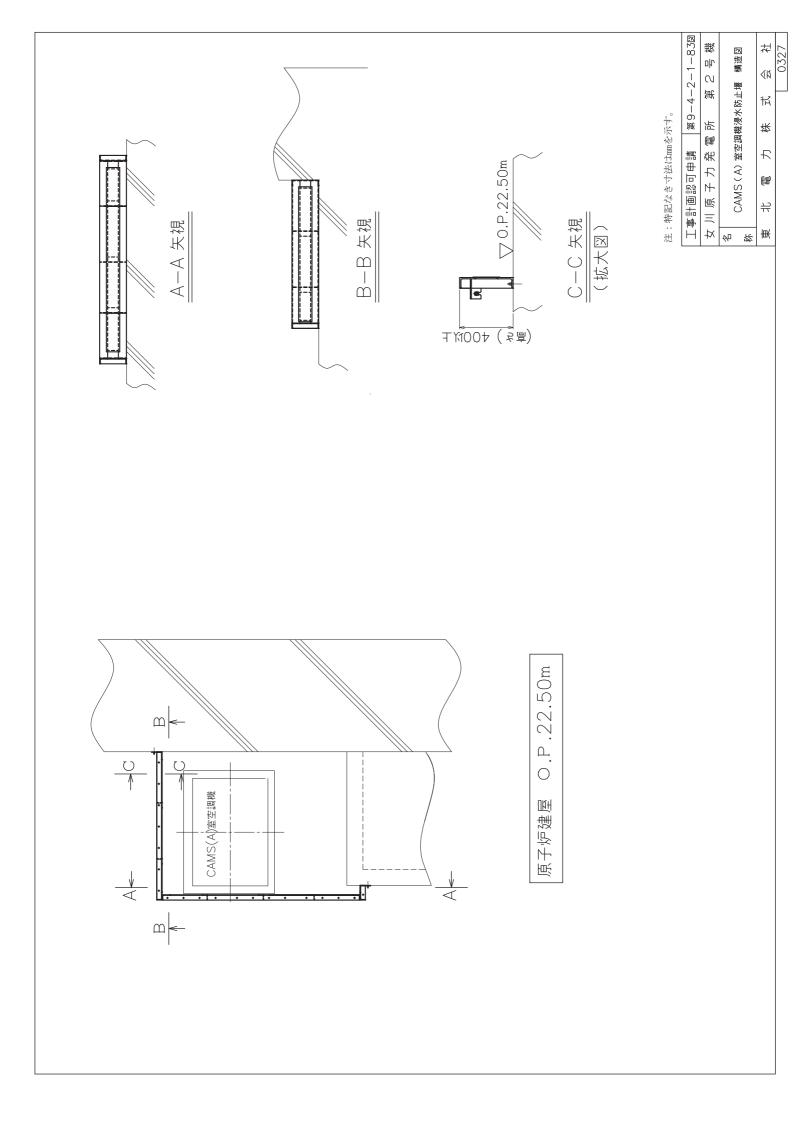












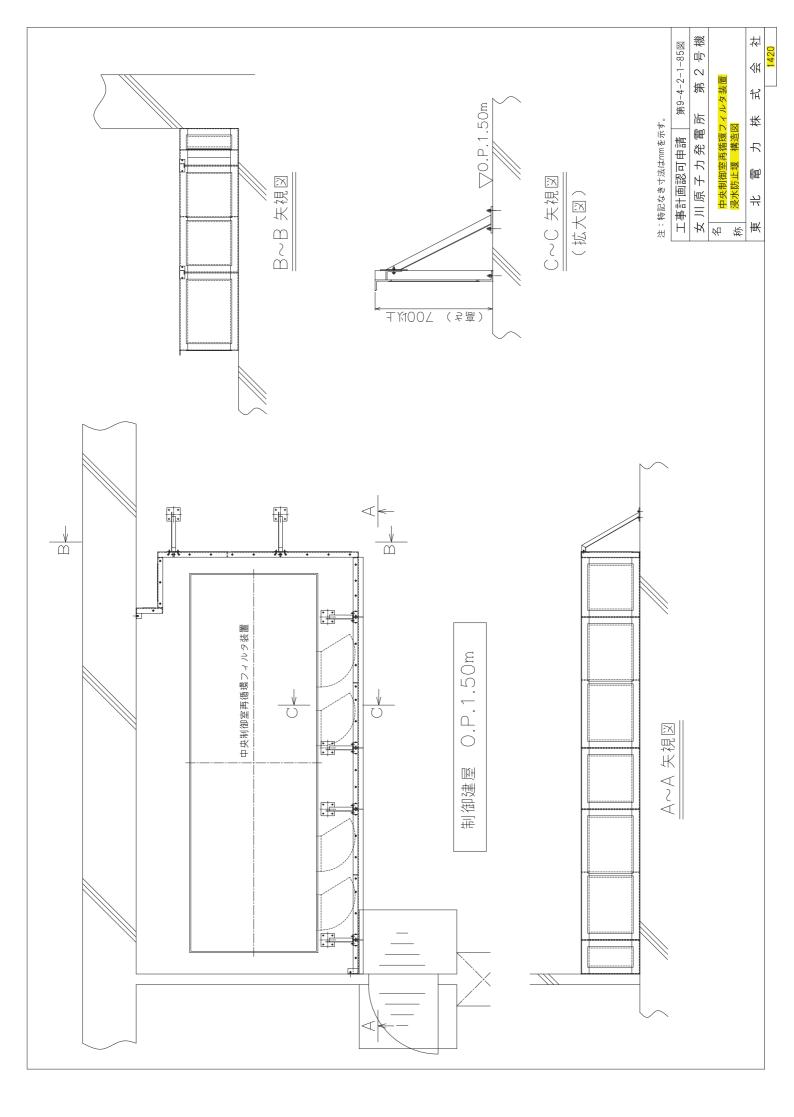
 工事計画認可申請
 第9-4-2-1-84図

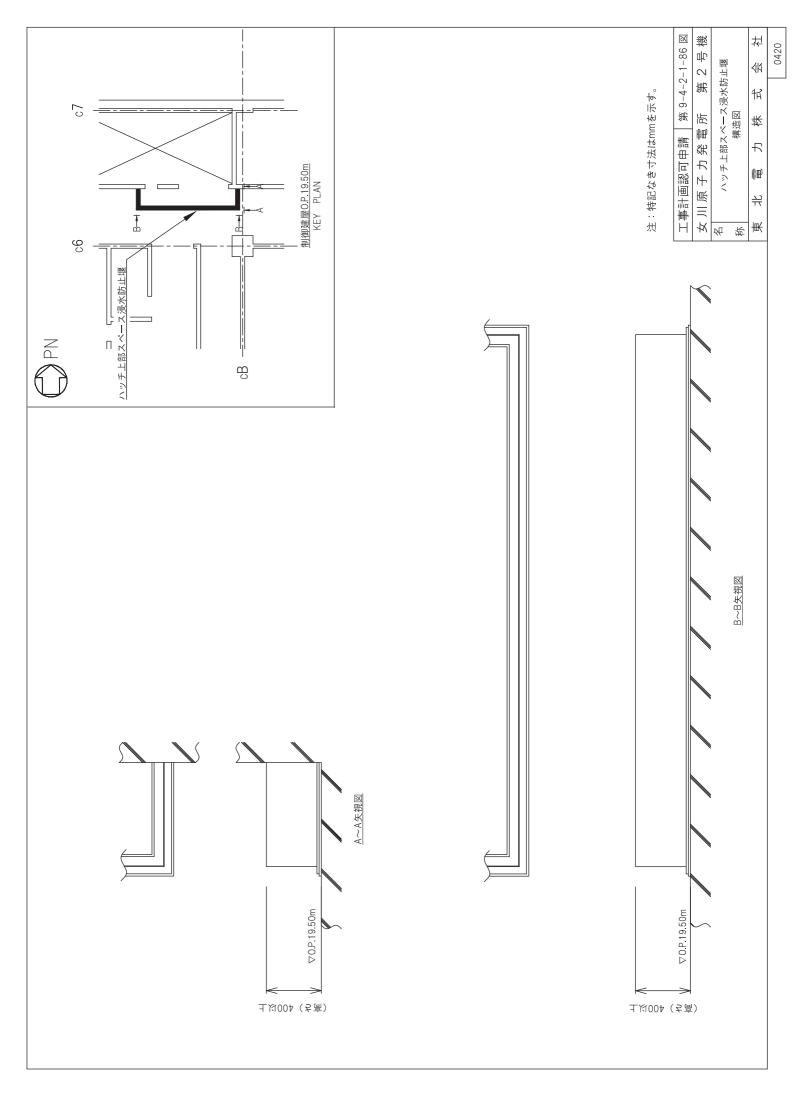
 女川原子力発電所
 第2号機
 ¥ CAMS(B)室空調機浸水防止擾 構造図 0327 Ś١ Ħ 注:特記なき寸法はmmを示す。 檪 Ł ₽₽ 7 0.P.22.50m ÷ ₩ %□ 夲 C-C 关視 (拡大図) B-B 矢視 ┍┫┛ 土似004(名高) O.P.22.50m > m \odot Ŵ CAMS(B)室空調機 原子炉建屋

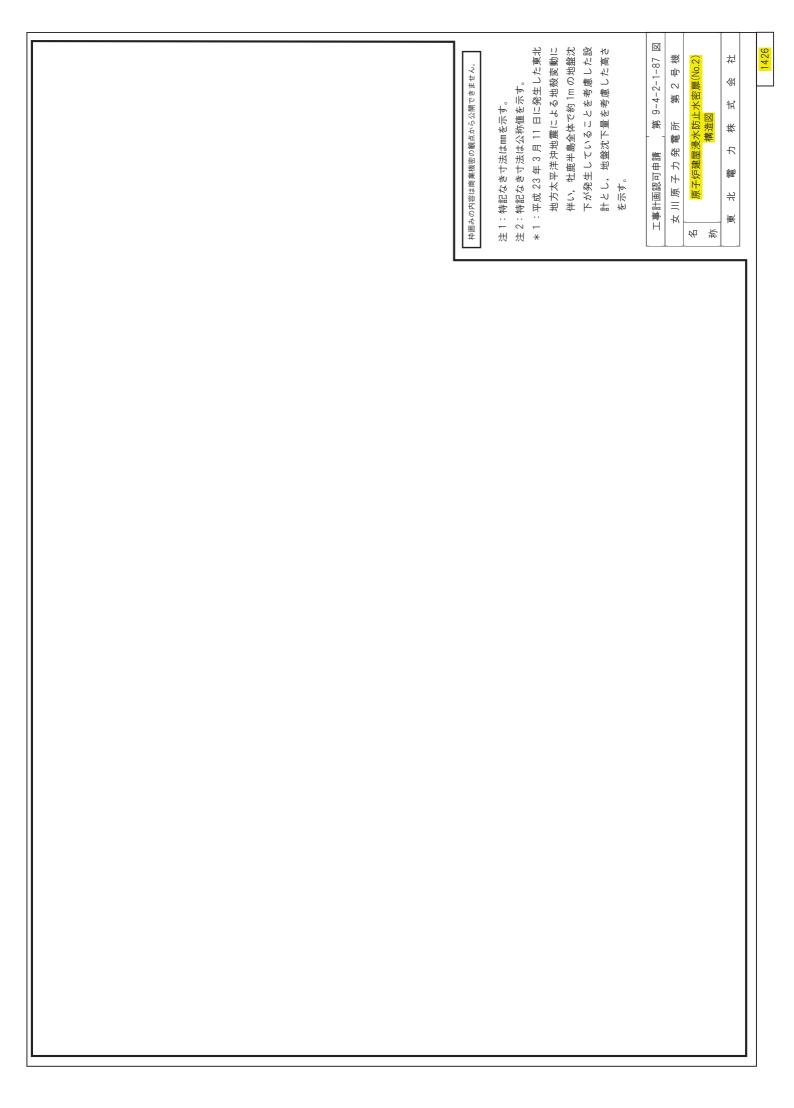
 \triangleleft

→m

 \triangleleft







工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2080		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>1350</mark>		同上

	枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 *1:平成23年3月11日に発生した東北 地方太平洋沖地震による地殻変動に 伴い, 牡鹿半島全体で約1mの地盤沈	下が発生していることを考慮した設計とし,地盤沈下量を考慮した高さを示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-88 図 女川原子力発電所 第 2 号機 名 原子师建屋浸水防止水密扉(No.1) 称 精造図 東< 北 吉 社

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2080		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>1350</mark>		同上

	##囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 *1:平成23年3月11日に発生した東北 地方太平洋沖地震による地殻変動に	伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-1-89 図 女川原子力発電所 第 2 号機 名 制御建屋浸水防止水密扉(No.3) 称 構造図 東<北電力株式会社

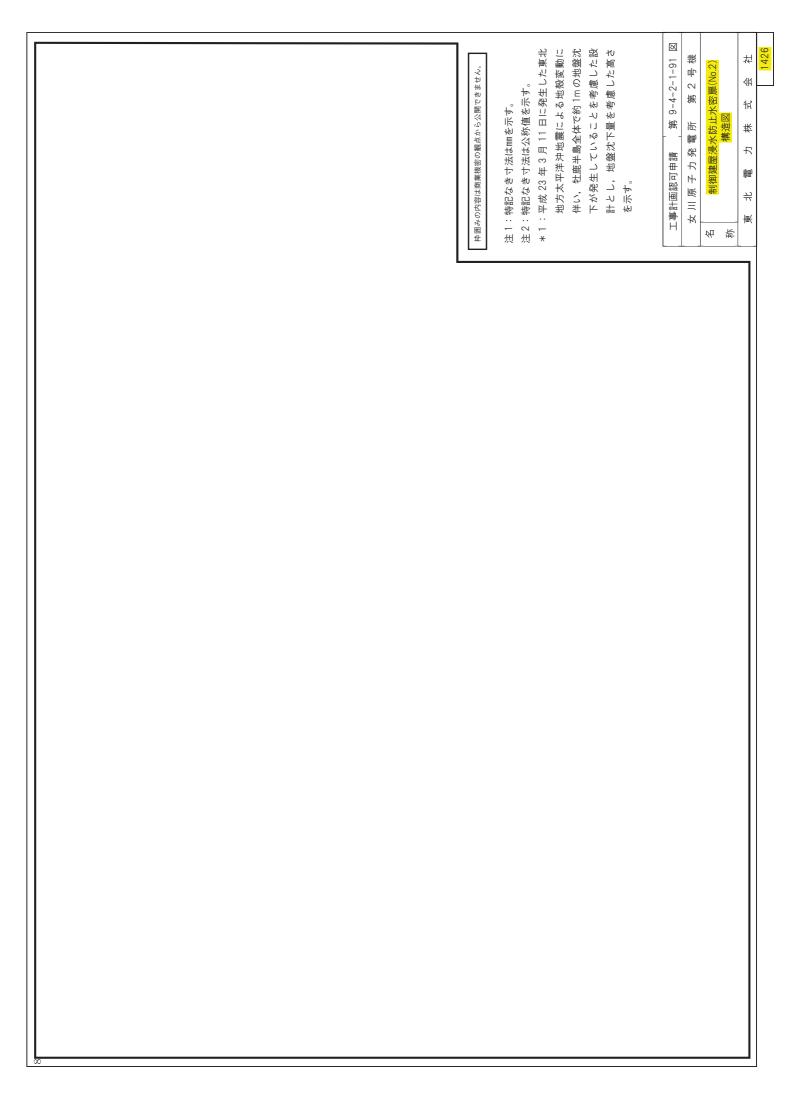
主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	<mark>2077</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>1702</mark>		同上

本国みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法は心称値を示す。 注1:特記なき寸法は公称値を示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 *1:平成 23 年 3月11日に発生した東北地方大平洋沖地震による地殻変動に 中じい、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈 下が発生していることを考慮した設 計とし、地盤沈下量を考慮した高さ を示す。 アが発生していることを考慮した設 計とし、地盤沈下量を考慮した高さ を示す。 アが発生していることを考慮した耐 計とし、地盤沈下量を考慮した高さ を示す。 工事計画認可申請 第 9-4-2-1-90 図 女川原子力発電所 第 9-4-2-1-90 図 本 第 9-4-2-1-90 図 本 第 9-4-2-1-90 図 本 第 1 年 1 本 式 会 柱 素 1 価値建屋浸水防止水密扉(No.1] 新 1 年 1 本 式 会 柱

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>2037</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>1406</mark>		同上

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。



主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>2137</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>1402</mark>		同上

#囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なさ寸法は心称値を示す。 注1:特記なさ寸法は心称値を示す。 注1:年記なさ寸法は心称値を示す。 *1:平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北 地方太平洋沖地震による地殻変動に 伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地酸沈 下心な生していることを考慮した耐き や示す。 *1:平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北 地方大平洋沖地震による地殻変動に 神どい、牡鹿半島全体で約 1m の地酸沈 下面を引加の地酸沈 下面を引加の地酸ガ 本い。 *1:平広 23 年 3 月 11 日に発生した東北 市合・ *1:中日 *11 日に発生した東北 市合・ *2:小路北市橋市市 第 9-4-2-1-92 図 *2:中藤 *2:0-4 *2:中藤 *2:0-4 *2:小原 *11 周1 力 第 電 1 *2:小原 *11 周2 力 第 電 1 *2:小原 *2:0-4 *2:小原 *11 周2 力 第 電 1 *2:小原 *11 点 力 3:1 *2:小原 *11 点 力 3:1 *2:小店 *1 法 北 北 北 北 小 社

工事計画記載の公称値の許容範囲	ŕ
-----------------	---

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>2139</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>1459</mark>		同上

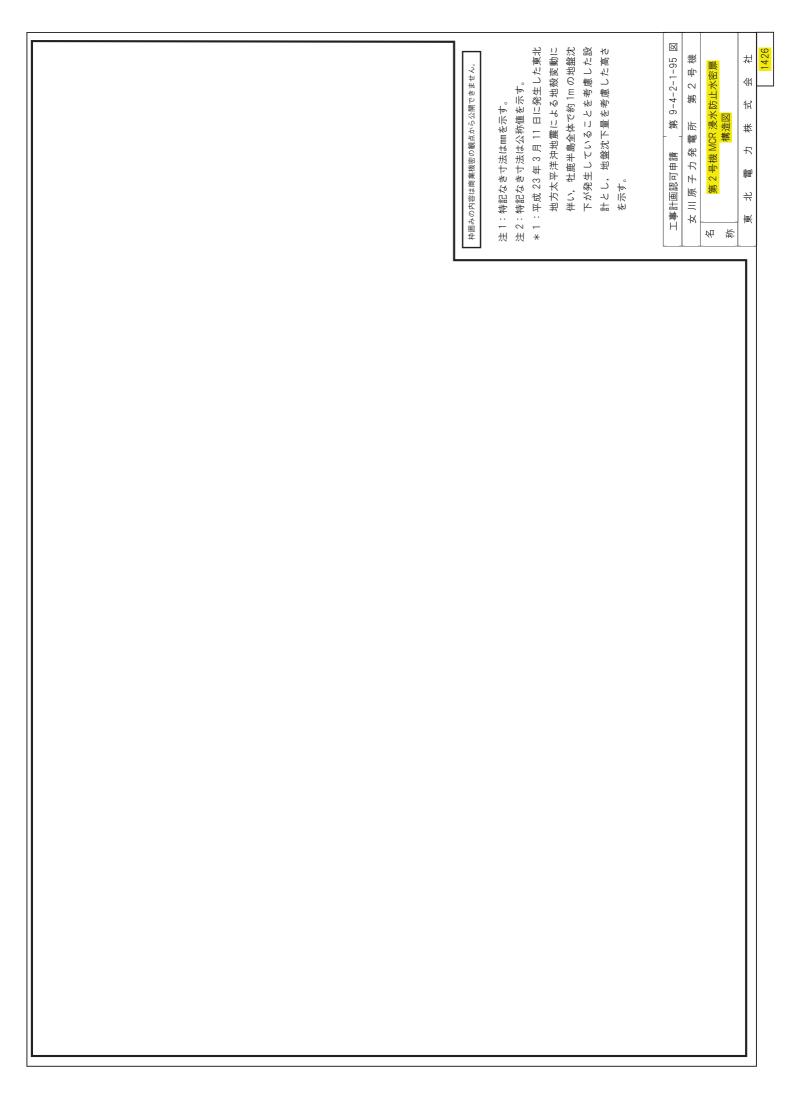
	枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。	注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 米1:平成23年3月11日に発生した東北 地方太平洋沖地震による地殻変動に 伴い, 牡鹿半島全体で約1mの地盤沈 下が発生していることを考慮した設	を示す。 工事計画認可申請 第 9-4-2-1-93 図 女川原子力発電所 第2 号機 名 制御建屋空調機械(A)室 脉 武 金 社 東 北 電 力 株 式 会 社

工事計画記載の公称値の許容範囲	載の公称値の許容範囲
-----------------	------------

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>2086</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1017		同上

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注 1: 特記 な き 寸 法は mm を示 す。 注 2: 特記 な き 寸 法は MM 香 示 す 。	 *1:平成23年3月11日に発生した東北地震による地殻変動に 地方太平洋沖地震による地殻変動に 伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈 下が発生していることを考慮した酸 計とし、地盤沈下量を考慮した高さ を示す。 工事計画認可申請 第9-4-2-1-94 図 女川原子力発電所 第2号機 格川原子力発電所 第2号機 教 創御建屋空調機械(B)室 泉、防止、密扉 構造図

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2101		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1086		同上



工事計画記載の公称値の許容範囲	
上ず可回叱戦ッム小胆ッ可谷靼四	

	主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
屝	たて	2600		製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
体	横	2030] [同上
小	たて	2200] [同上
屝	横	1044		同上

建屋浸水防止水密扉(No.4 構造図	制御建屋浸水防止水密扉(No.4	女 川 原 子 力 発 電 所 第 2 号 機	申請 第 9-4-2-1-6	F	を示す。	ニ つう、 お目ろ 二冊 り じ 返 く 7 ご く	- 1.2.光月 つへい 9 口口 9 立飯 つご以 4 ユーニー 李慈祥 1 町 4 坂市 - 七山 4	汗い。 互原十郎王承(約1111 27 26) 1111 27 26) 27 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21	伴い. 牡鹿半島全体で約1mの地盤沈	地方太平洋沖地震による地殻変動に	*1:平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北	注 2:特記なき寸法は公称値を示す。 	注1:特記なき寸法は㎜を示す。	枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。											

工事計画記載の公称値の	許容範囲
-------------	------

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	<mark>1960</mark>		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	945		同上

	 *#囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法は町を示す。 注2:特記なさ寸法は公称値を示す。 *1:平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤洗下が空星していることを考慮した耐きすとし、地盤洗下量を考慮した高きを示す。 ** *	_ 単 単

工事計画記載の公称値の許額	容範囲
---------------	-----

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2012		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	<mark>1962</mark>		同上

#囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1: 特記なきマオ法はmmを示す。 注2: 特記なきマオ法はAmmを示す。 注2: 特記なきマオ法は公務値を示す。 注2: 特記なきの注意ので書いたい、社 本平洋労地震による地酸変動に伴い、社 曲半島全体で影け」のの世級方の目に伴い、社	ていることを考慮した設計とし、地盤沈 下量を考慮した高さを示す。 工事計画認可申請 第9-4-2-1-98図 女川原子力発電所第2号機 格 地下軽油タンク燃料移送ポンプ室 粉 アクセス用浸水防止蓋(No.1) 構造図 東北電力株式、公式20

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1336		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1070		同上
厚さ	16	± 0.65 mm	JIS G 3193

工事計画記載の公称値の許容範囲

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

#囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法は知mを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注3:平成23年3月11日に発生した東北地方 太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡 鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生し ていることを考慮した記さとし、地盤沈 下量を考慮した高さを示す。	工事計画認可申請 第9-4-2-1-99図 女川原子力発電所第2号機 名 地下軽油タンク燃料後送ボンプ室 称 アクセス用浸水防止蓋(No.2) 構造図 東北電力株式会社

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1336		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1070		同上
厚さ	16	± 0.65 mm	JIS G 3193

工事計画記載の公称値の許容範囲

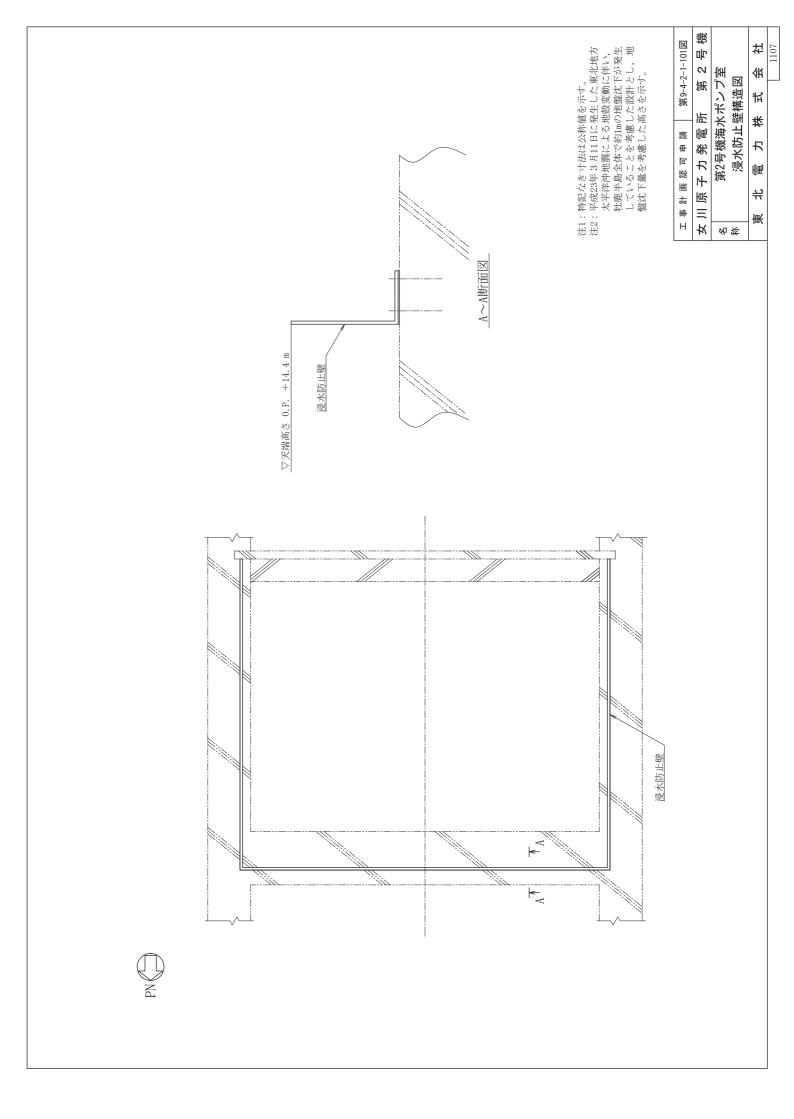
注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

株囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 注1:特記なき寸法はmmを示す。 注2:特記なき寸法は公称値を示す。 注3:平成23年3月11日に発生した東北地方 太平洋沖地震による地殻変動に伴い, 牡 鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生し ていることを考慮した設計とし, 地盤沈 下量を考慮した高さを示す。	工事計画認可申請 第9-4-2-1-100図 女川原子力発電所第2号機 名 地下軽油タンク機器搬出入用 浸水防止蓋構造図 東北電力株式会社

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	1336		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
横	1030		同上
厚さ	16		同上

工事計画記載の公称値の許容範囲

注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

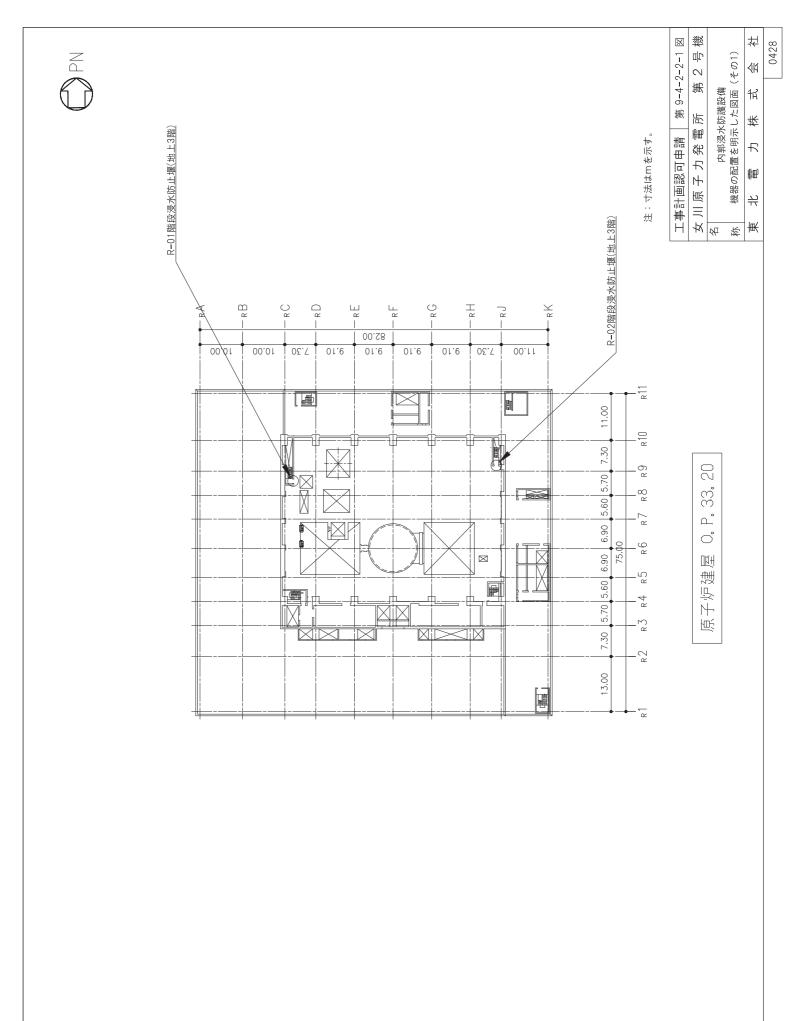


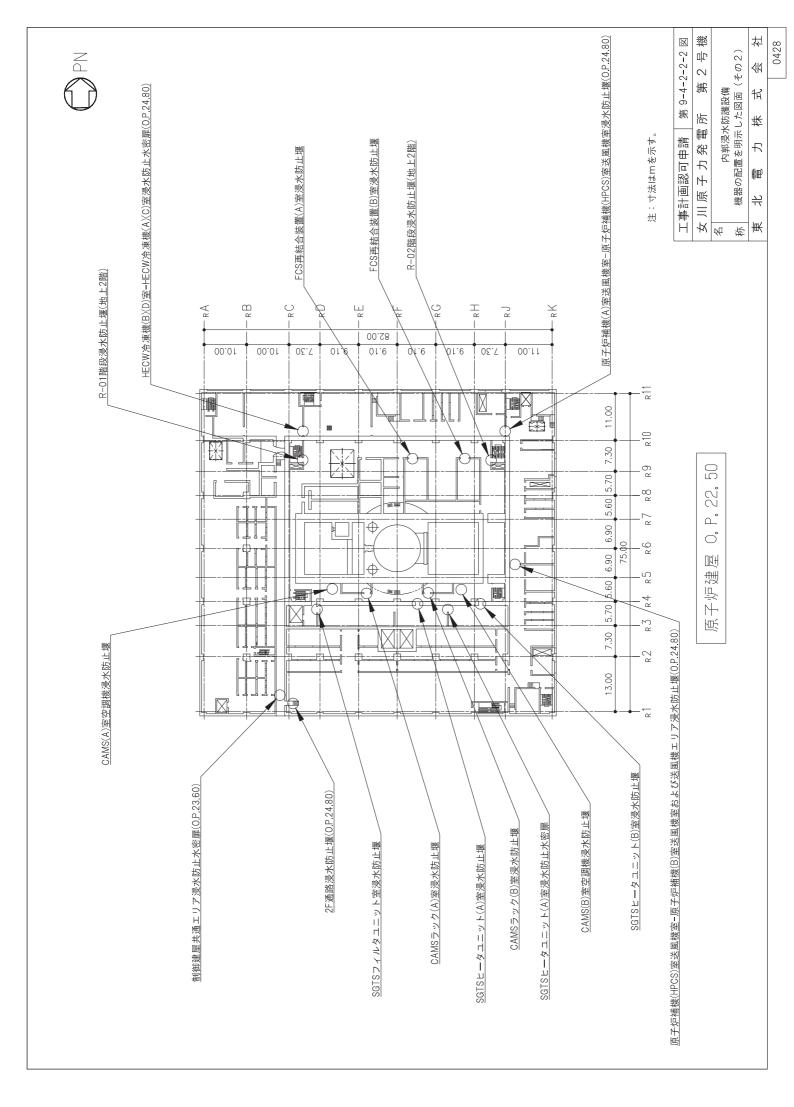
第9-4-2-1-101図 第2号機海水ポンプ室浸水防止壁構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

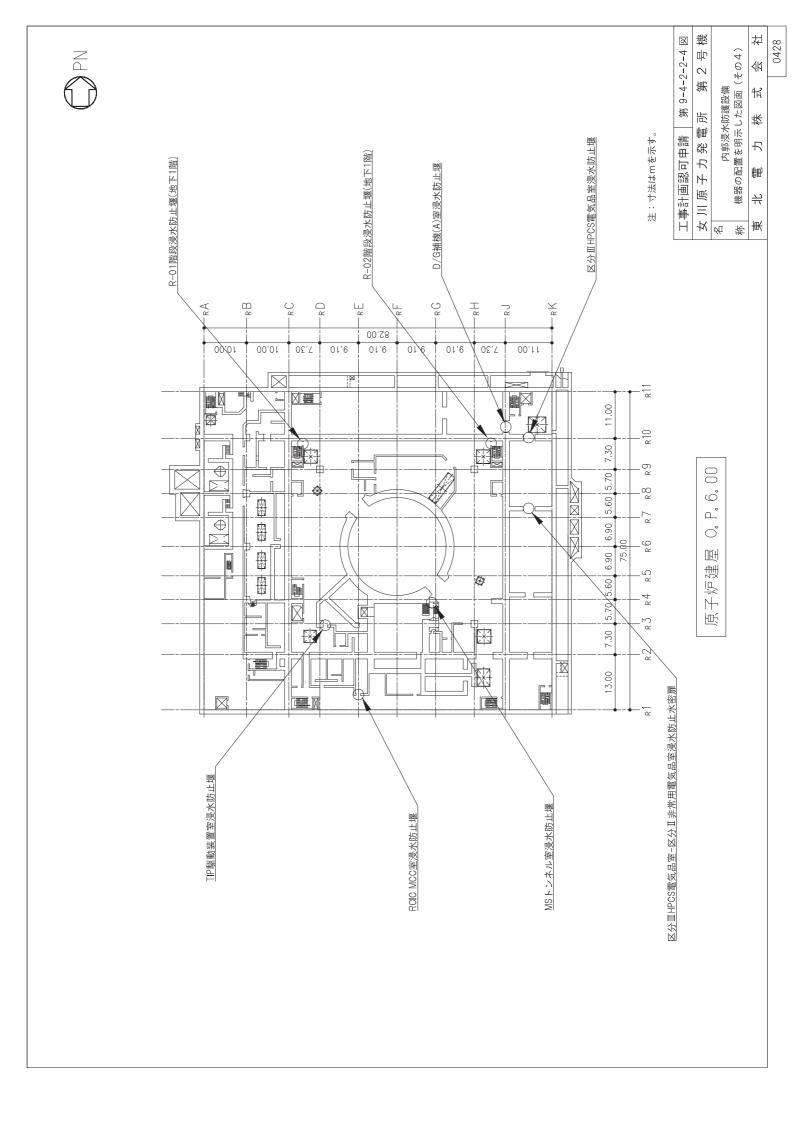
主要	可法	許容範囲	根拠
天端高さ	0.P. +14.4m	+規定しない 0.0 mm	製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準

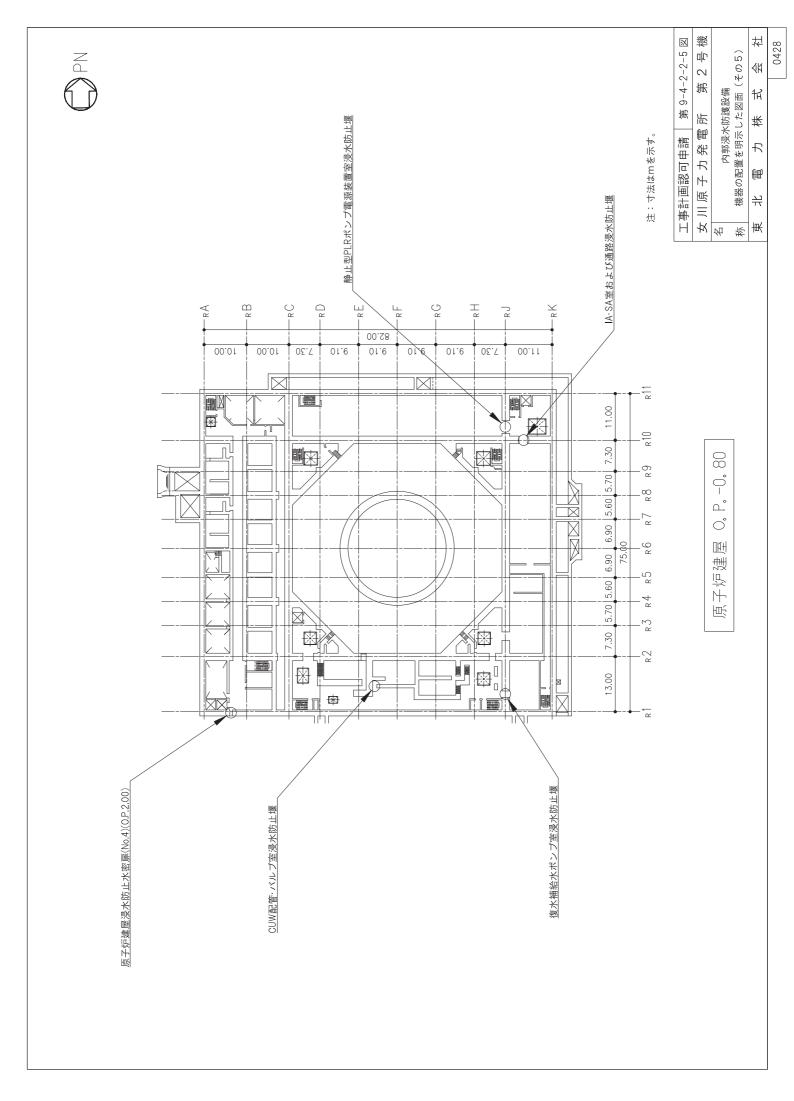
注:主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

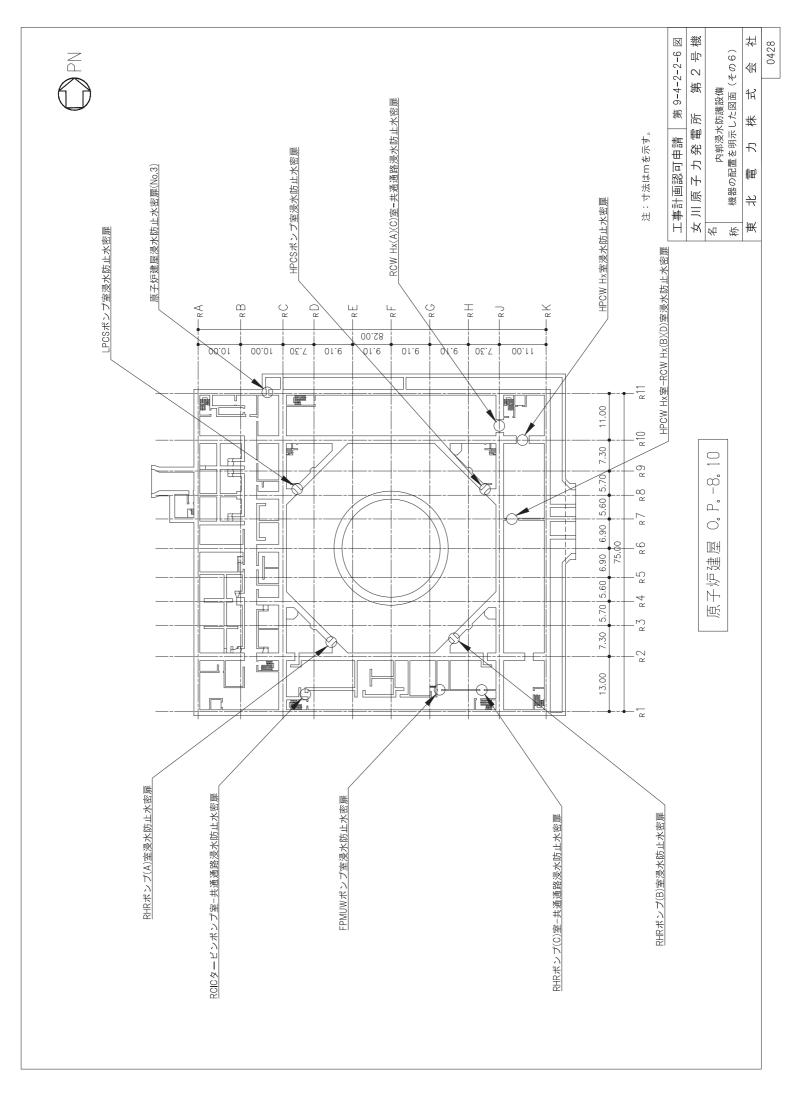




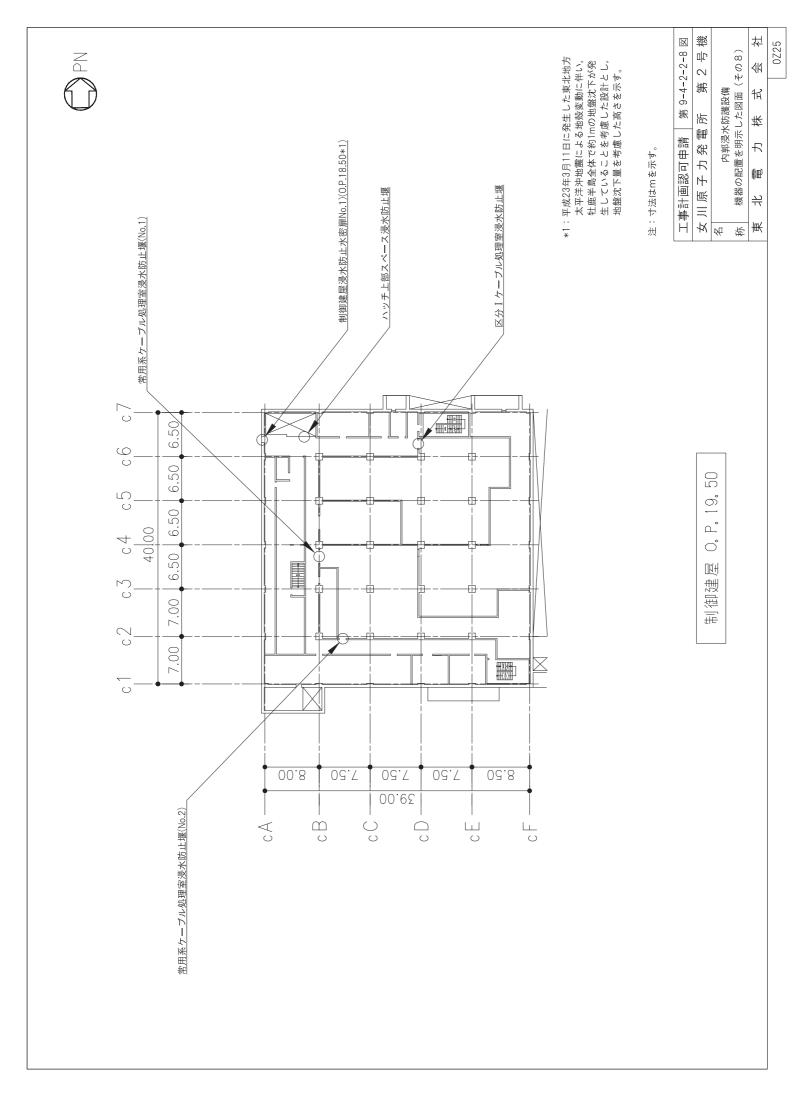
	枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。 注: 寸法はm を示す。	工事計画認可申請 第9-4-2-2-3 図 女川原子力発電所 第2号機 名 内郵浸水防護設備 新 機器の配置を明示した図面(その3) 東<北電力株式会社







	枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。	 注 : 寸法はmを示す。 工事計画認可申請 第9-4-2-2-7 図 女川原子力発電所 第2号機 名 内郭浸水防護設備 熱 機器の配置を明示した図面(その7) 東北電力株式会社 0225



	枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。	注:寸法はmを示す。	工事計画認可申請 第 9-4-2-2-9 図 女川原子力発電所 第 2 号機	名 内郭浸水防護設備 科 機器の配置を明示した図面(その9)	■ 東北電力株式会社	0225

	注:寸法はmを示す。 注:寸法はmを示す。 工事計画認可申請 第9-4-2-2-10 図 女川原子力発電所 第2号機 者 内郭浸水防護設備 都 機器の配置を明示した図面(その10) 東北 電力 株式 会社
	枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

